

5.3.2 2004年夏季(7~8月)分析結果

2004年夏季(7~8月)分析は、DPAA、PAAおよびPMAAを行った。結果は、以下の表および図としてまとめた。なお、値はすべてヒ素換算値とした。

表 5.3.6 2004年夏季(7~8月)地下水分析結果一覧表

図 5.3.1 2004年夏季(7~8月)ABトラック地下水 DPAA 汚染状況図

図 5.3.2 2004年夏季(7~8月)A井戸周辺地下水 DPAA 汚染状況図

図 5.3.3 2004年夏季(7~8月)B地区地下水 DPAA 汚染状況図

図 5.3.4 2004年夏季(7~8月)ABトラック地下水 DPAA・PAA・PMAA 汚染状況図(深度10m)

図 5.3.5 2004年夏季(7~8月)ABトラック地下水 DPAA・PAA・PMAA 汚染状況図(深度20m)

図 5.3.6 2004年夏季(7~8月)ABトラック地下水 DPAA・PAA・PMAA 汚染状況図(深度30m)

図 5.3.7 2004年夏季(7~8月)A井戸周辺地下水 DPAA・PAA・PMAA 汚染状況図(深度10m)

図 5.3.8 2004年夏季(7~8月)A井戸周辺地下水 DPAA・PAA・PMAA 汚染状況図(深度20m)

図 5.3.9 2004年夏季(7~8月)A井戸周辺地下水 DPAA・PAA・PMAA 汚染状況図(深度30m)

図 5.3.10 2004年夏季(7~8月)掘削調査地点周辺地下水 DPAA・PAA・PMAA 汚染状況図(深度10m)

図 5.3.11 2004年夏季(7~8月)B地区地下水 DPAA・PAA・PMAA 汚染状況図(深度10m)

図 5.3.12 2004年夏季(7~8月)B地区地下水 DPAA・PAA・PMAA 汚染状況図(深度20m)

図 5.3.13 2004年夏季(7~8月)B地区地下水 DPAA・PAA・PMAA 汚染状況図(深度30m)

この夏の測定以降、ABトラック外周に設けたモニタリング孔でも地下水分析を行っている。

1) A井戸周辺

汚染分布は、初期の測定結果と同様、A井戸直近の深度30m付近が高濃度になっている。

A井戸直近の高濃度の汚染は、No34孔の深度30mの34ppmを最高に、周辺のNo7,13,34,37,39,70,72,81の計8孔のそれぞれ深度30mから10ppmを超える高濃度のジフェニルアルシン酸が検出された。

また、その周辺のボーリング孔では、高くても数ppmオーダーしか確認されないことから、高濃度の汚染域は非常に局所的と考えられる。

また、A井戸南のグラウンド北西角に位置するNo27孔からも10ppmを超える高濃度のジフェニルアルシン酸が確認された(前回は1.7ppm)。

2) A井戸南東90m(掘削調査地点)周辺

A井戸南東90m(掘削調査地点)周辺では、初期測定で高濃度汚染が確認されたNo124孔と109孔を結ぶライン付近で、今回も同様の高濃度汚染が確認された。これらの内、No110孔の深度10mで最高の150ppmが確認された。

また、No83,103,110,117,124,125,129,185孔の深度10mから10ppmを超える高濃度汚染が確認されるのに加えて、No124、83孔の深度20~30mからも20ppmを超える高濃度汚染が確認された。

3) B地区

B地区では、中心から西に約100m離れたNo66孔において、深度10mで2.6ppm、20mで0.8ppm、30mで0.7ppmが確認された(初期調査ではすべてND)。

一方で、初期にB地区で最大の濃度が検出されたNo170では、すべての深度で濃度が低下した(深度10mで0.37ppm N.D、深度20mで0.4ppm 0.003ppm、深度30mで0.24ppm 0.07ppm)。

またB地区では、この夏の測定の結果、B地区中心で全体に濃度が低下する傾向がある一方で、B地区の東側と西側で濃度が上昇している傾向がある。

このため、汚染プルームが地下水の影響により変動している可能性が示唆される。

4) AB間

AB間では、初期の測定で最大0.1ppmの汚染が局所的に確認されていたのが、この夏の測定で、深度30mの汚染が0.055~1.5ppmの間で、つながるような分布となった。またその濃度は、全体にはAからBに従い低くなる傾向にある。

深度10mの汚染は、No177の0.65ppmが最高になるが、汚染の連続性は見られない。

5) ABトラック外周

17孔すべてのモニタリング孔で、ジフェニルアルシン酸は検出されなかった。

6) DPAA、PAA、PMAA 分布

同じ地下水サンプルを用いて、DPAA、PAA、PMAAを分析した結果、濃度は高い順に、DPAA、PAA、PMAAになっており、DPAAの濃度が相対的に多い結果となっている。

PAAは、DPAAにくらべ濃度は低いものの、AB間全域にまばらに見られる。

PMAAは、濃度自体非常に低く、その分布もA井戸南東90m(掘削調査地点)周辺のみである。

図5.3.1 2004年夏季(7~8月)ABトラック地下水DPAA汚染状況図

単位:ppb(ヒ素換算値)

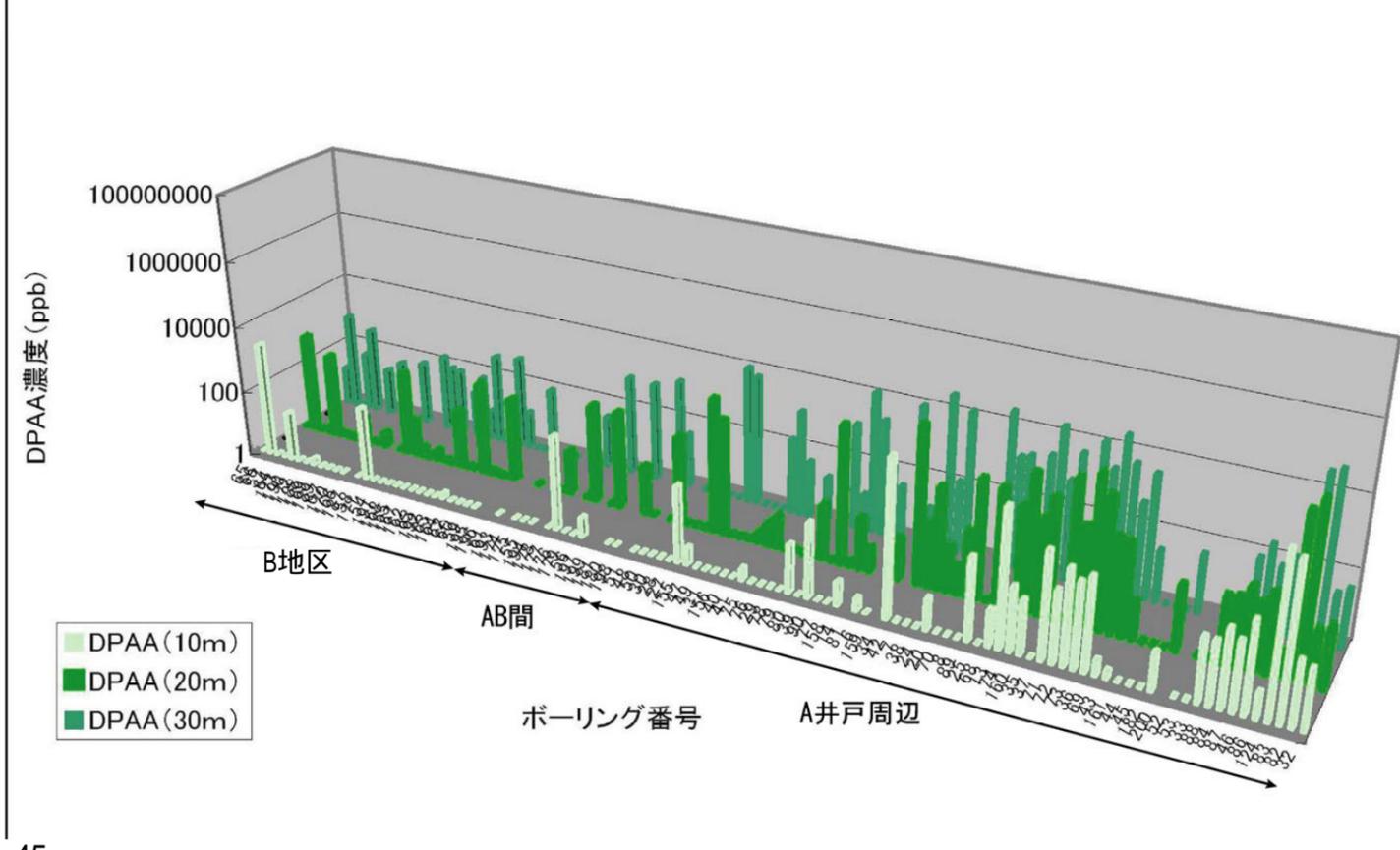
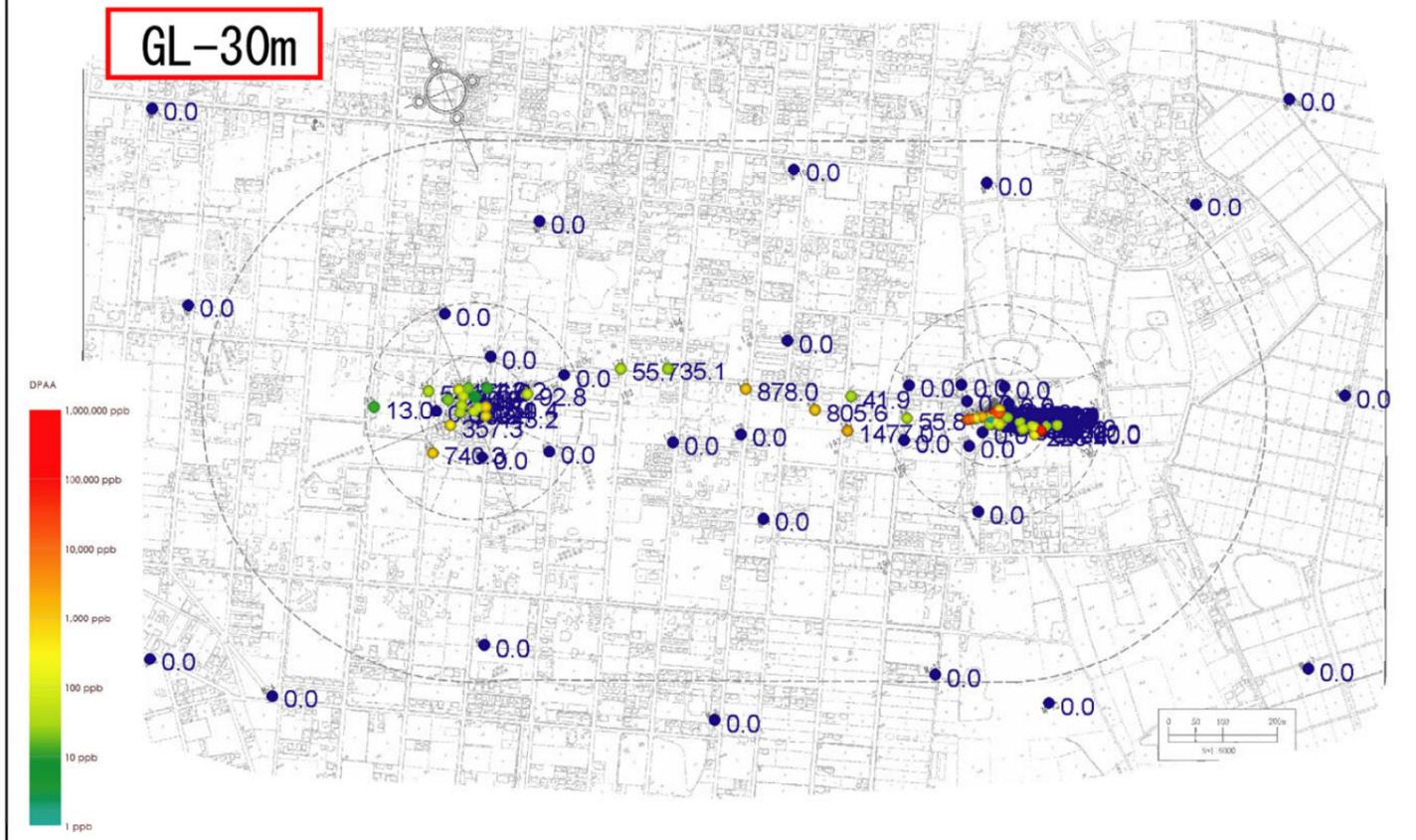
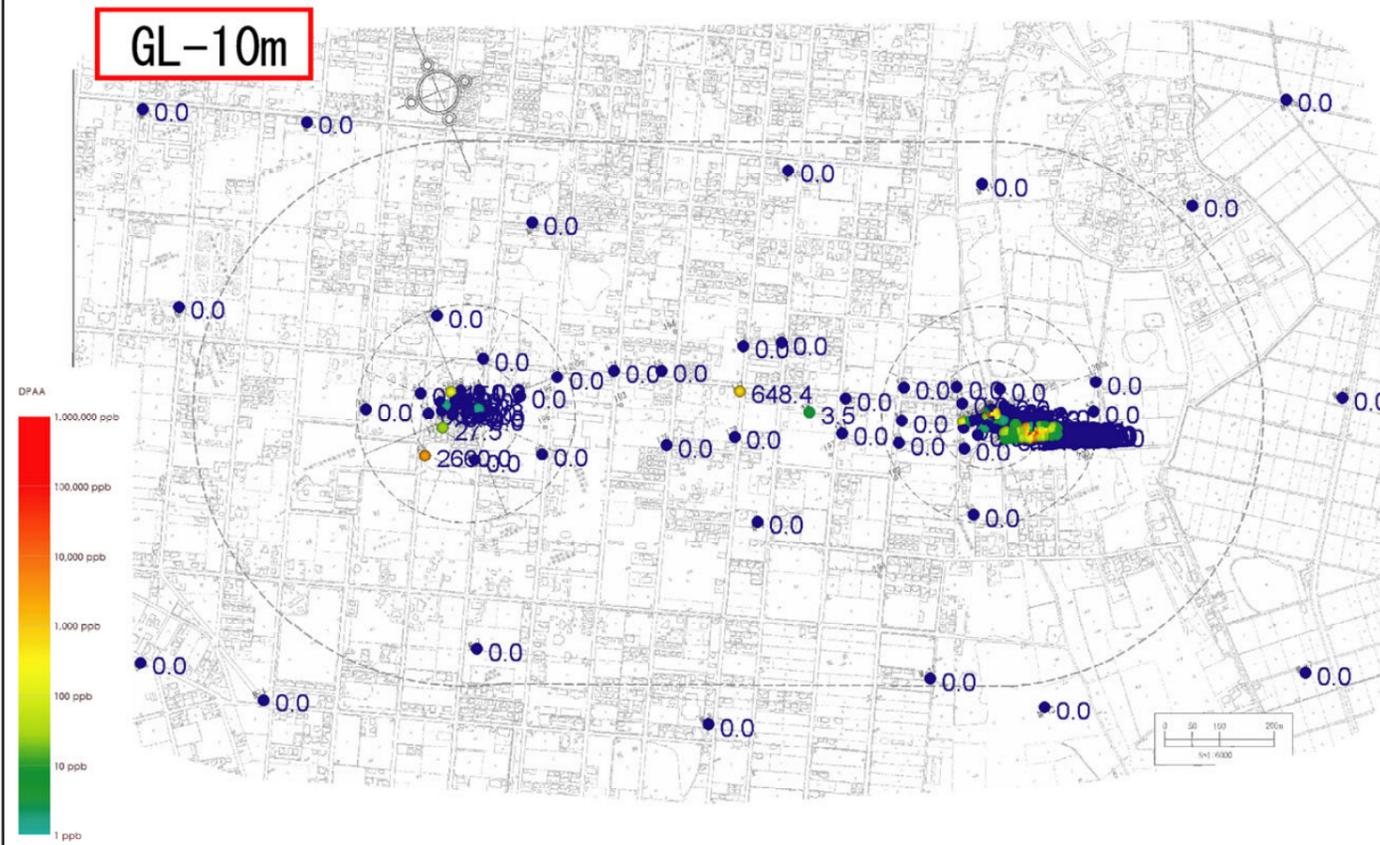


図5.3.2 2004年夏季(7~8月)A井戸周辺地下水DPAA汚染状況図

単位:ppb(ヒ素換算値)

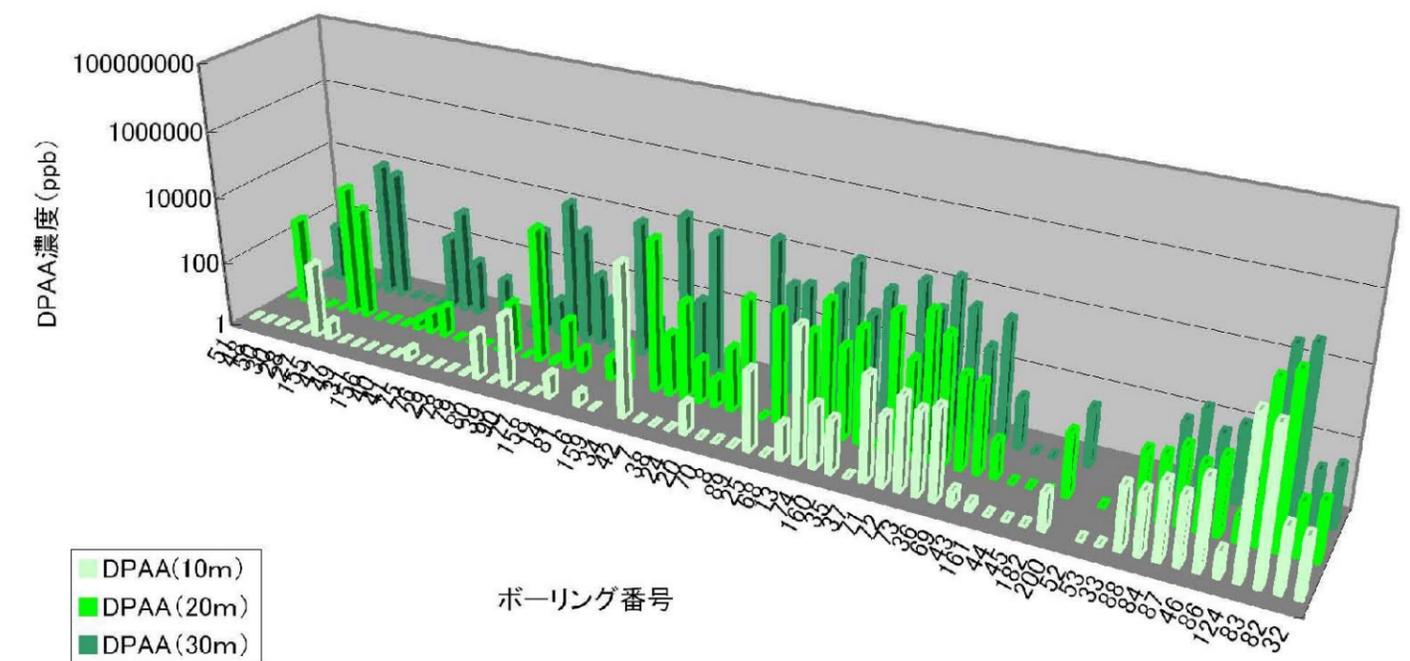
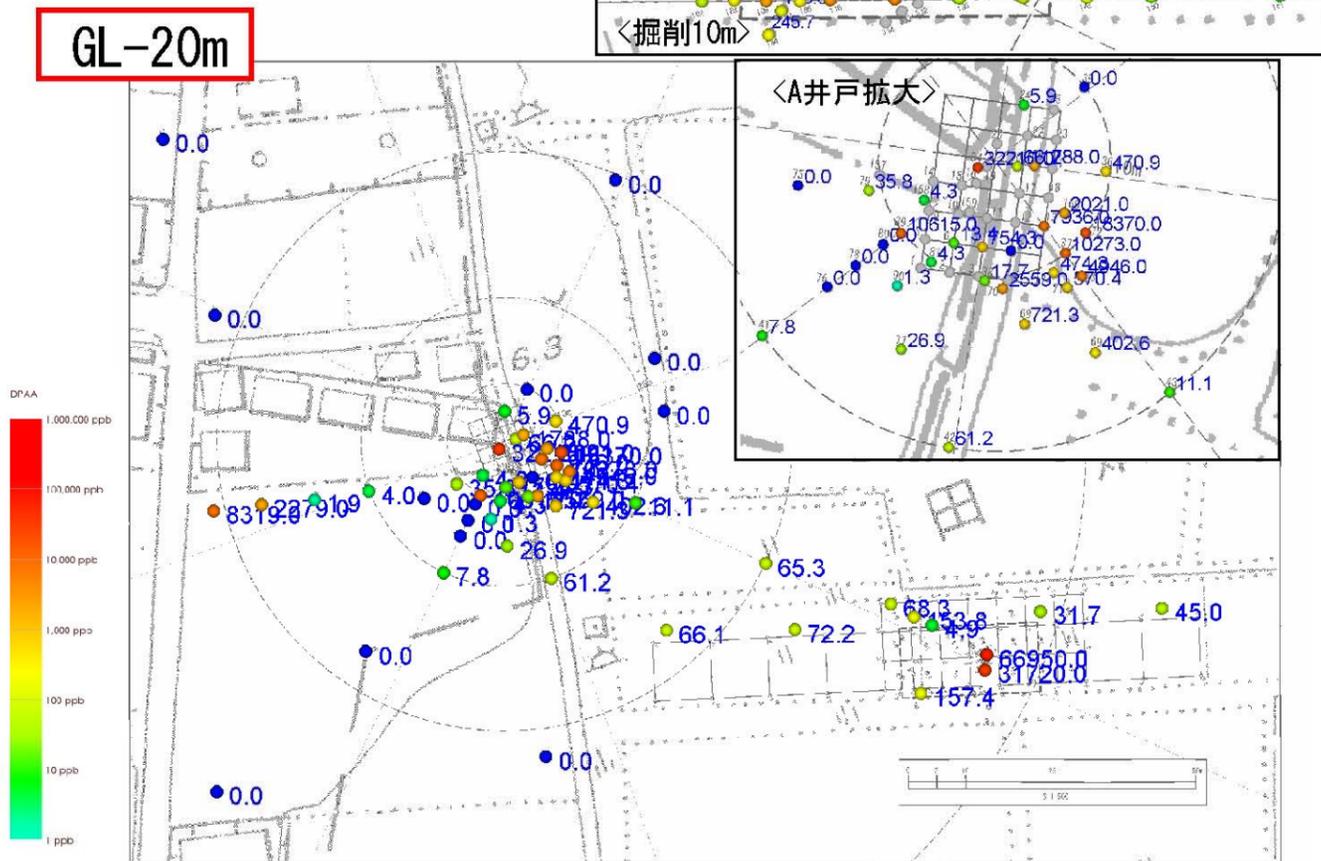
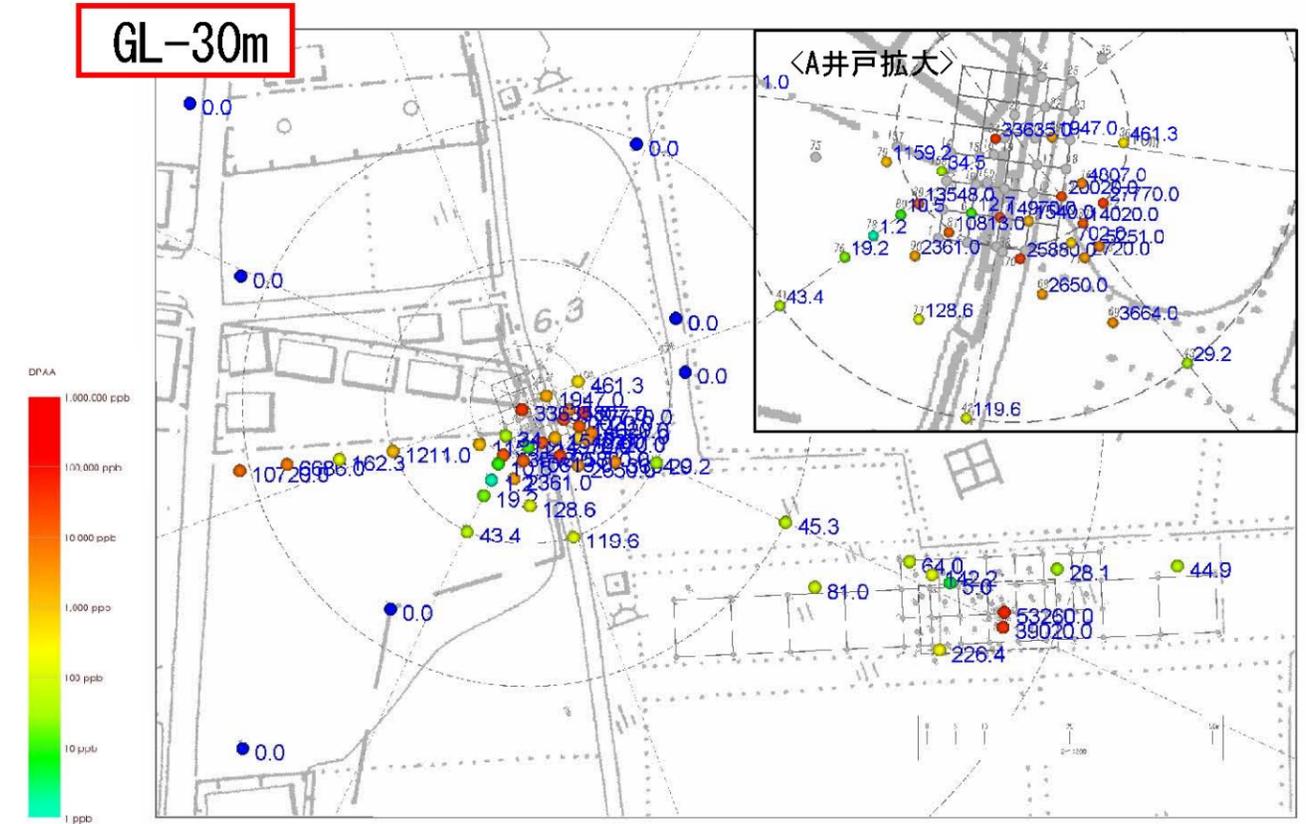
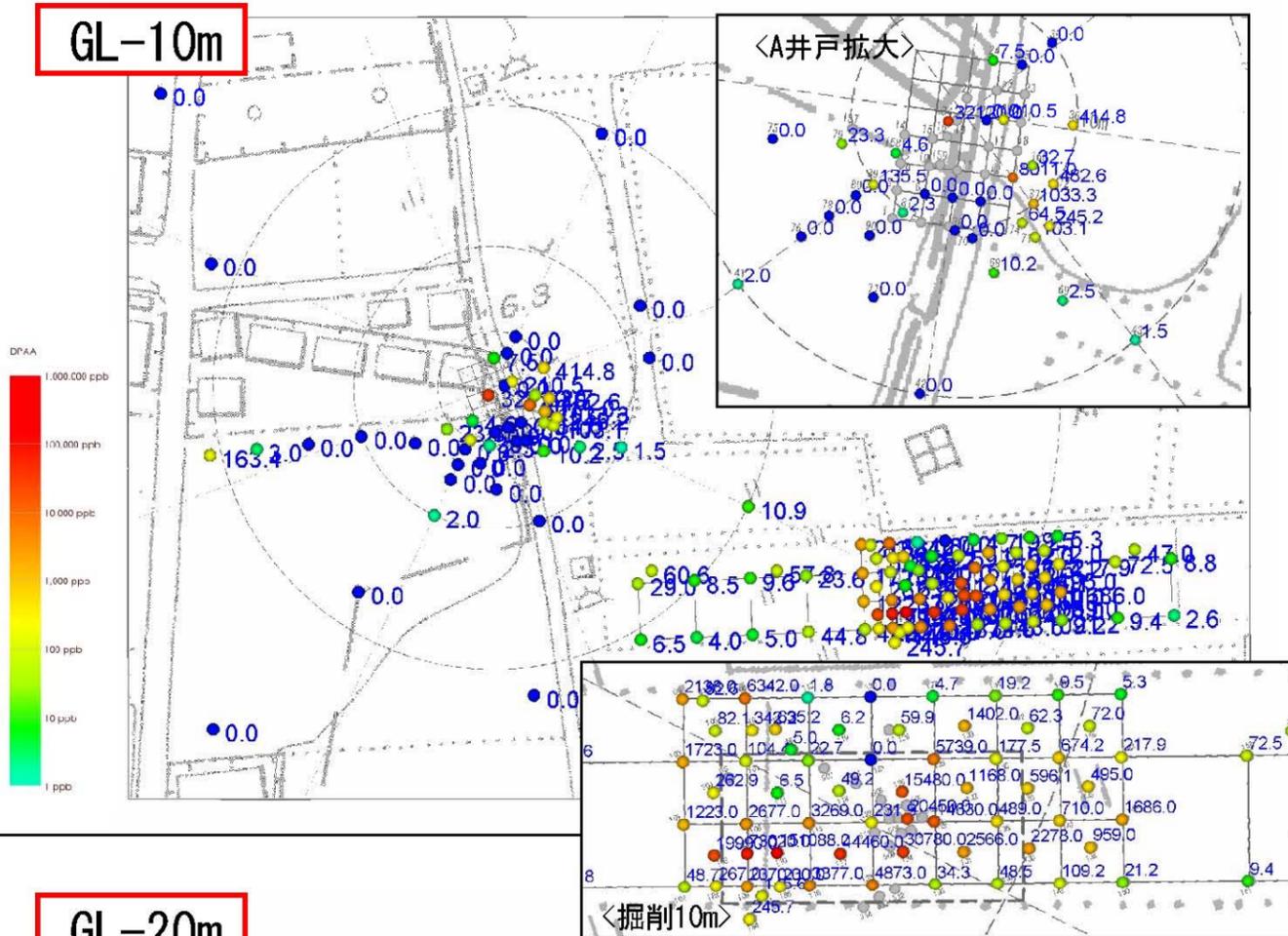


図5.3.3 2004年夏季(7~8月)B地区地下水DPAA汚染状況図

単位: ppb (ヒ素換算値)

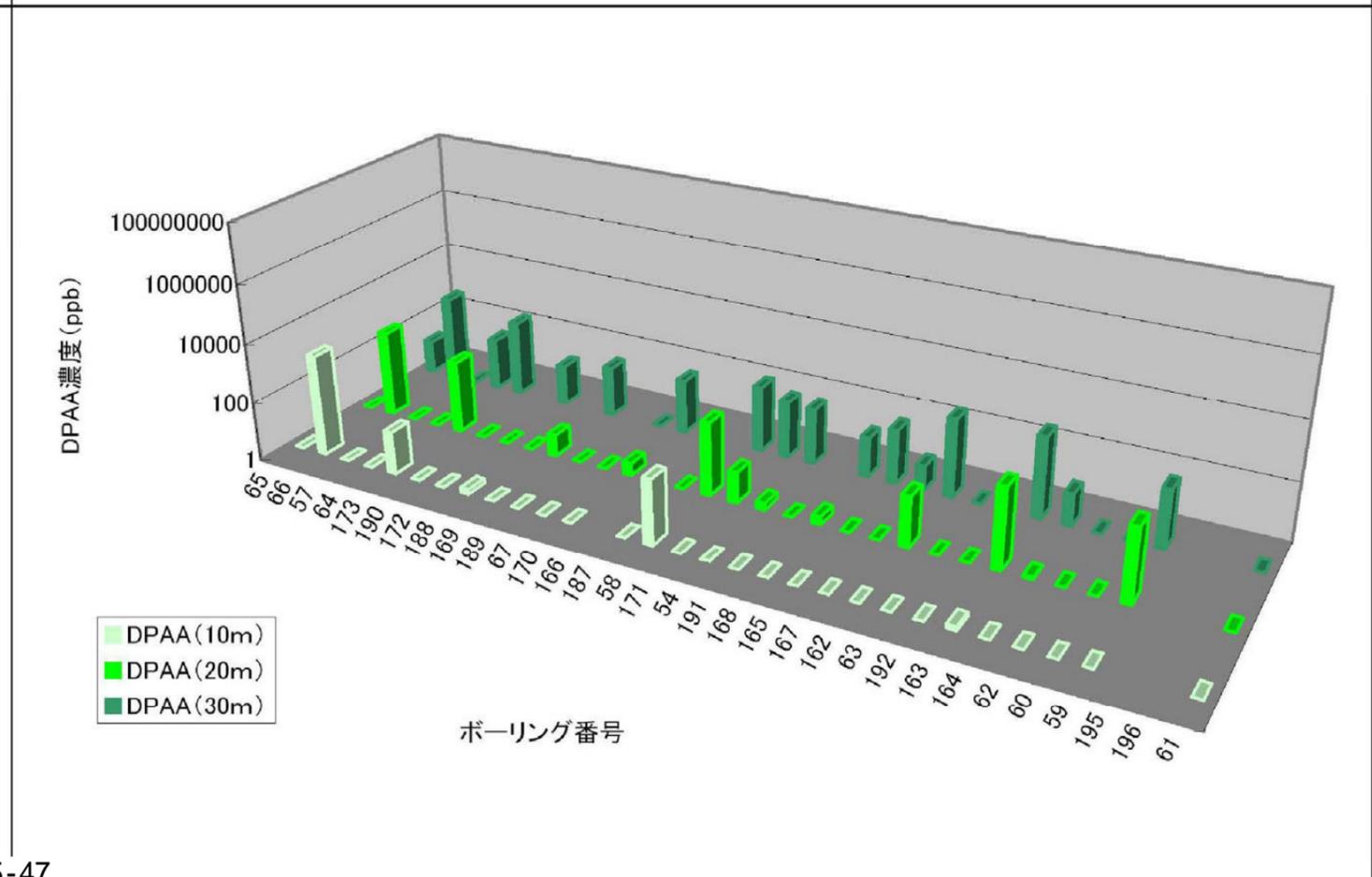
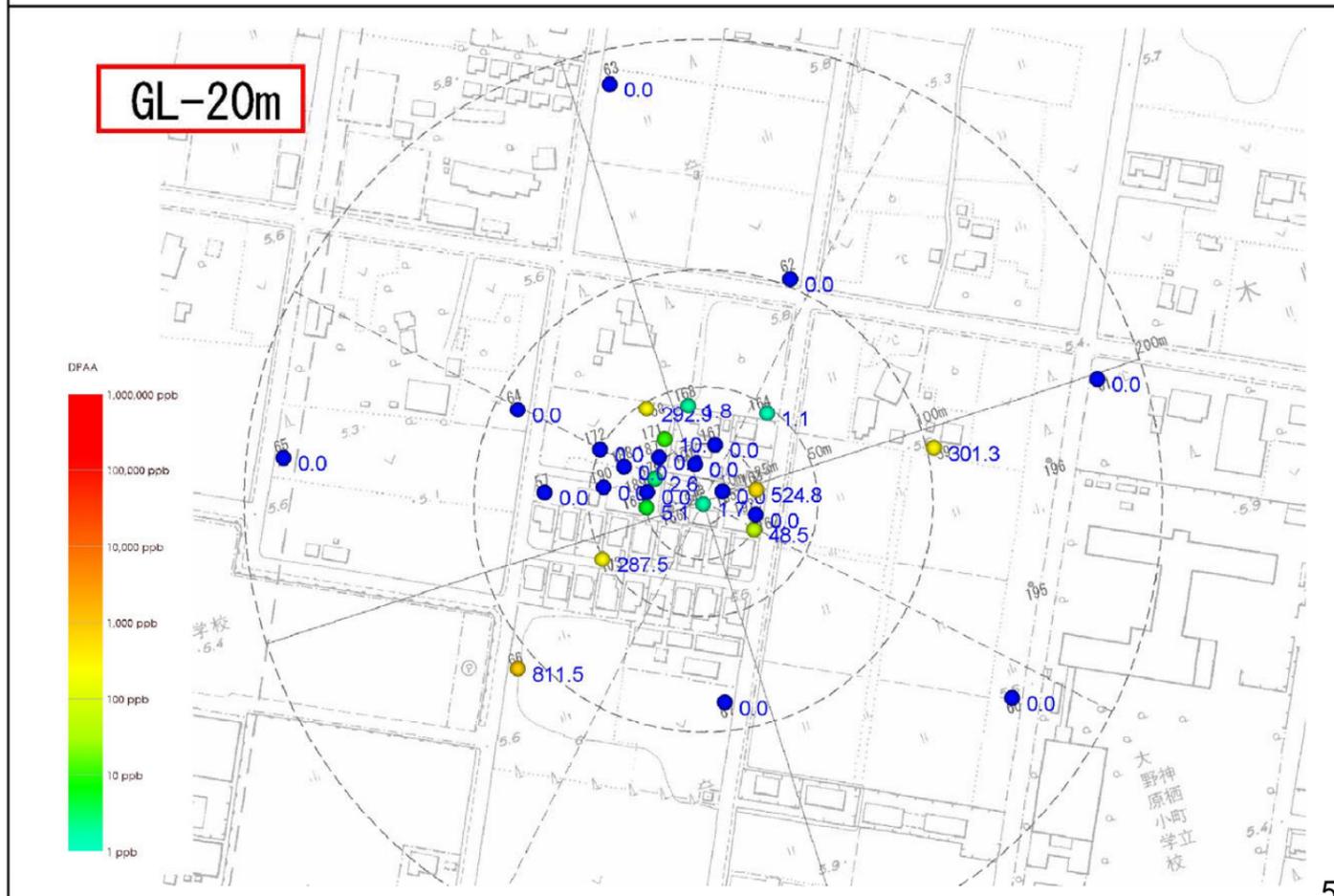
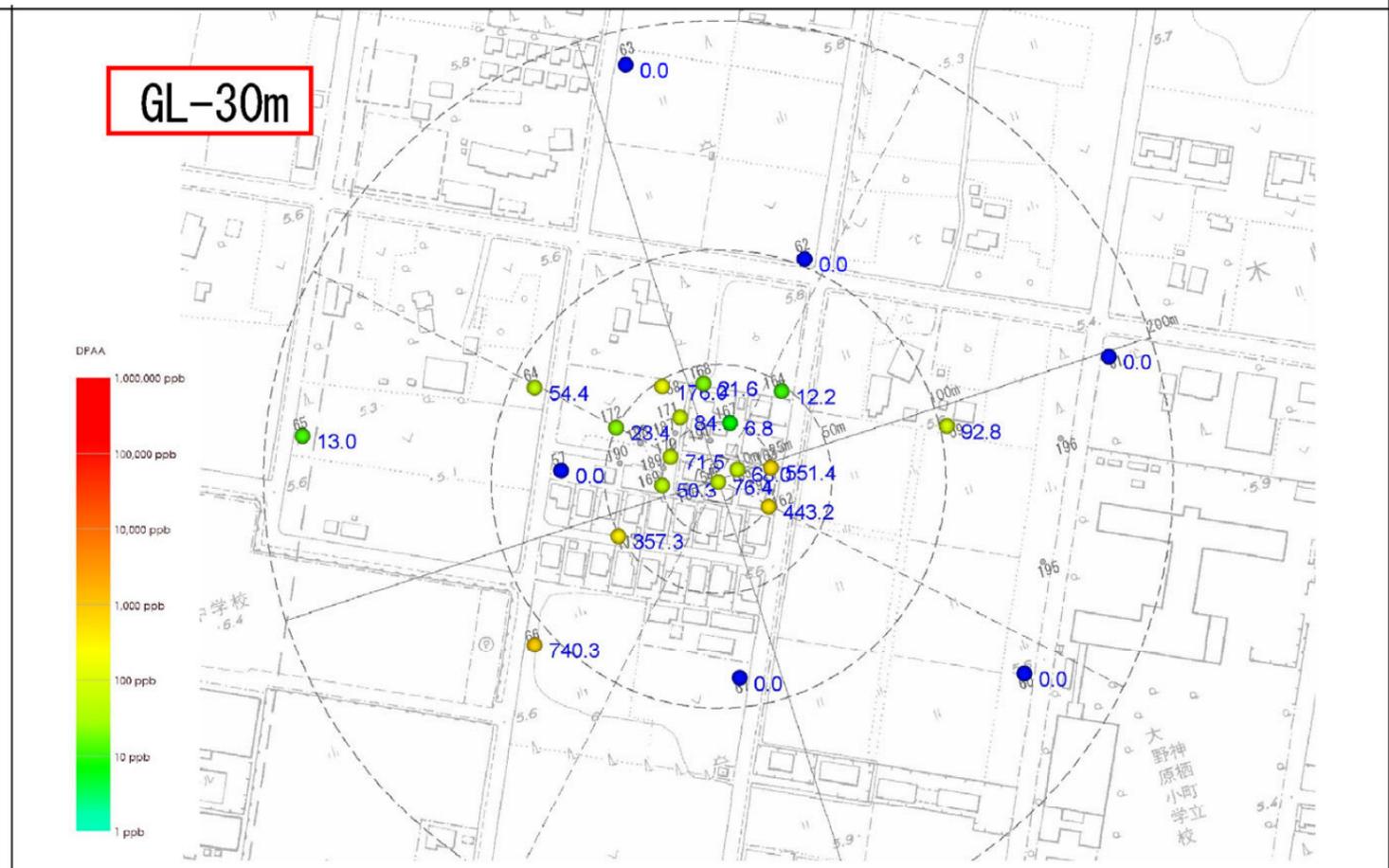
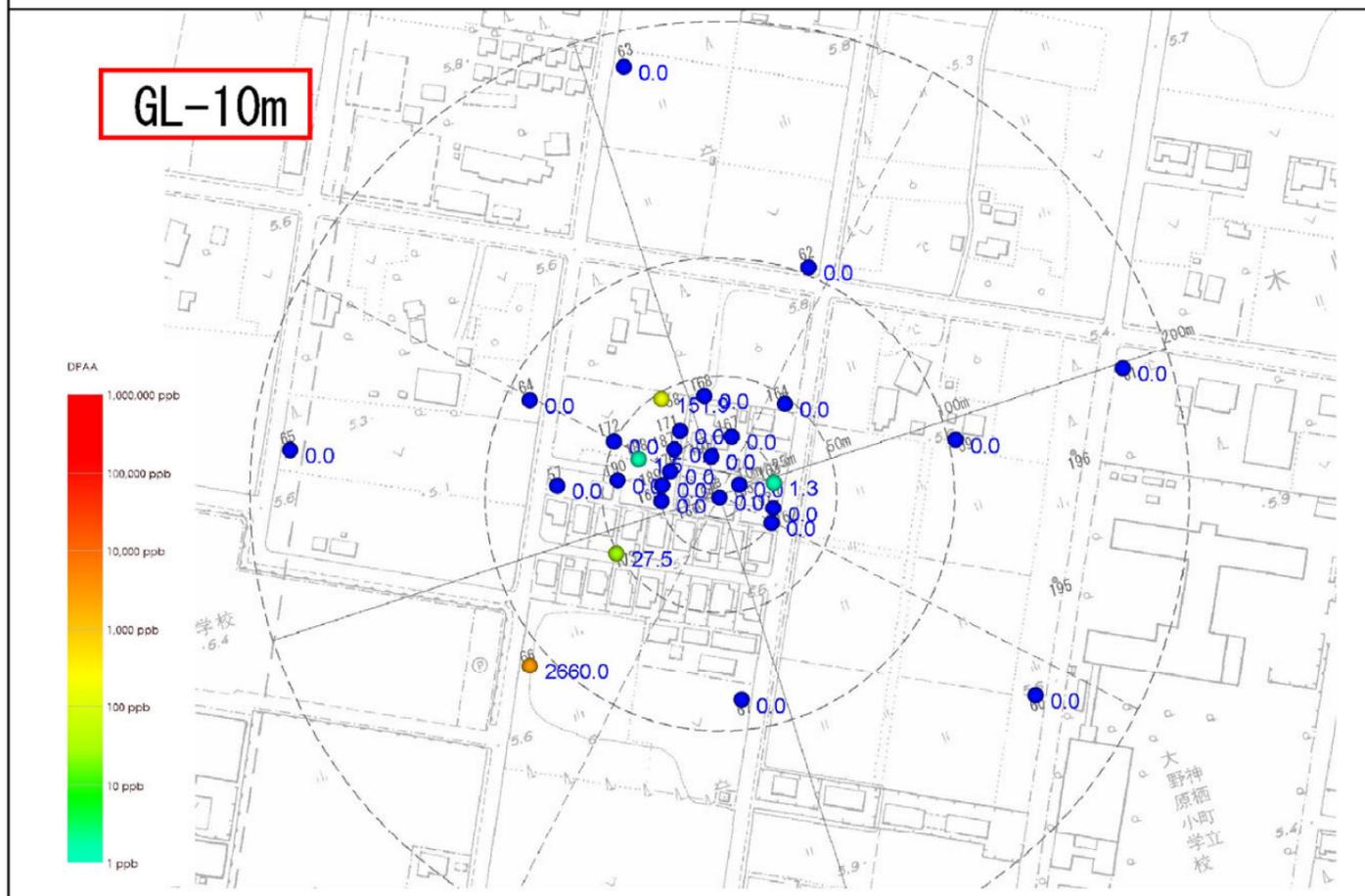
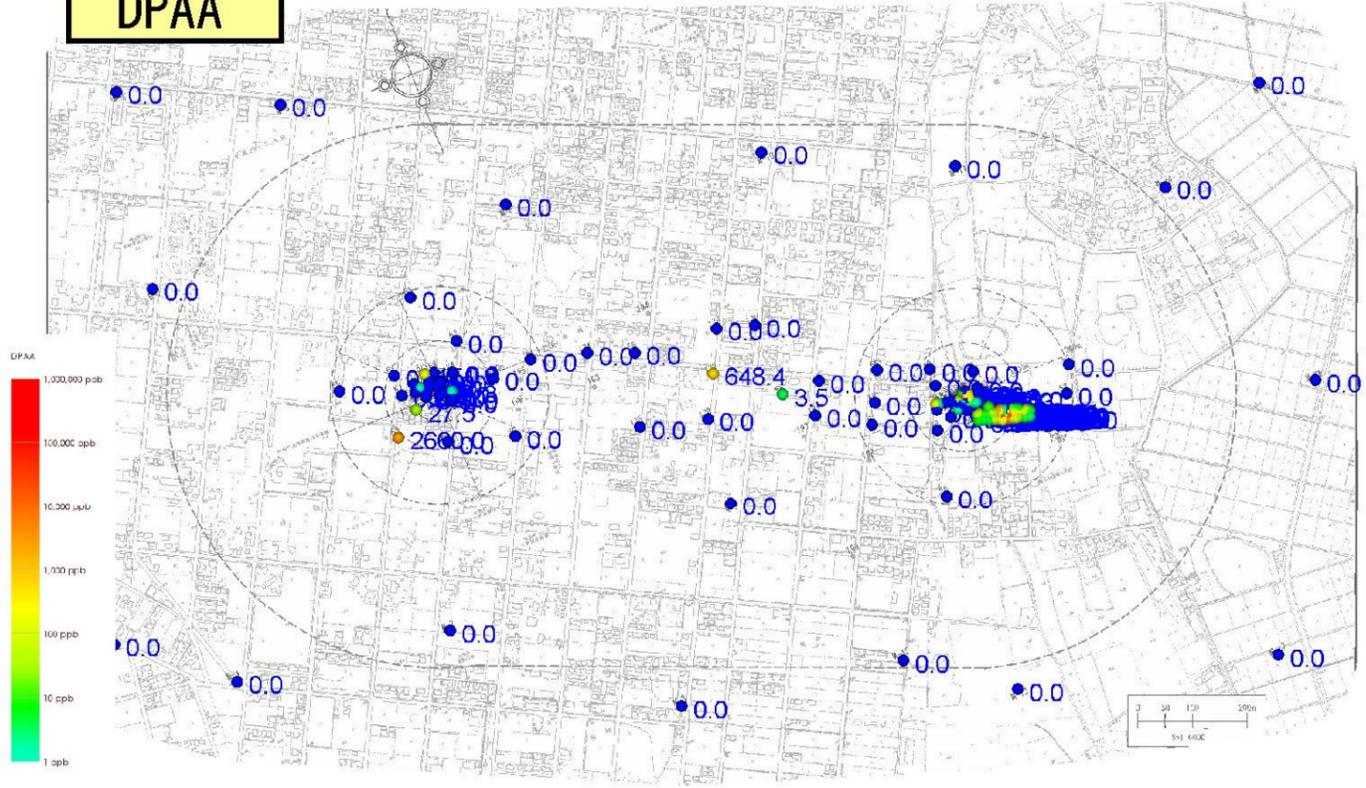
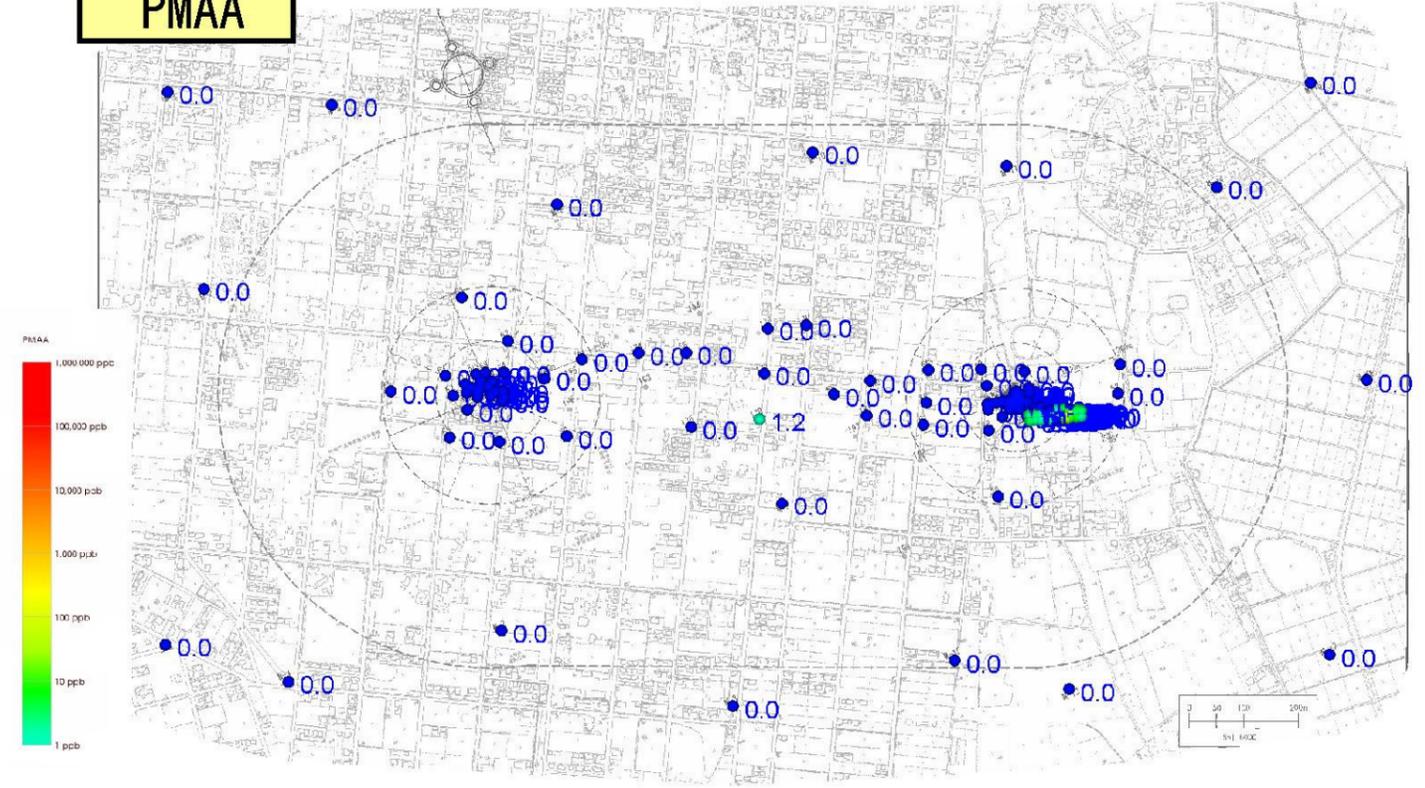


図5.3.4 2004年夏季(7~8月)ABトラック地下水DPAA・PAA・PMAA汚染状況図(深度10m) 単位:ppb(ヒ素換算値)

DPAA



PMAA



PAA

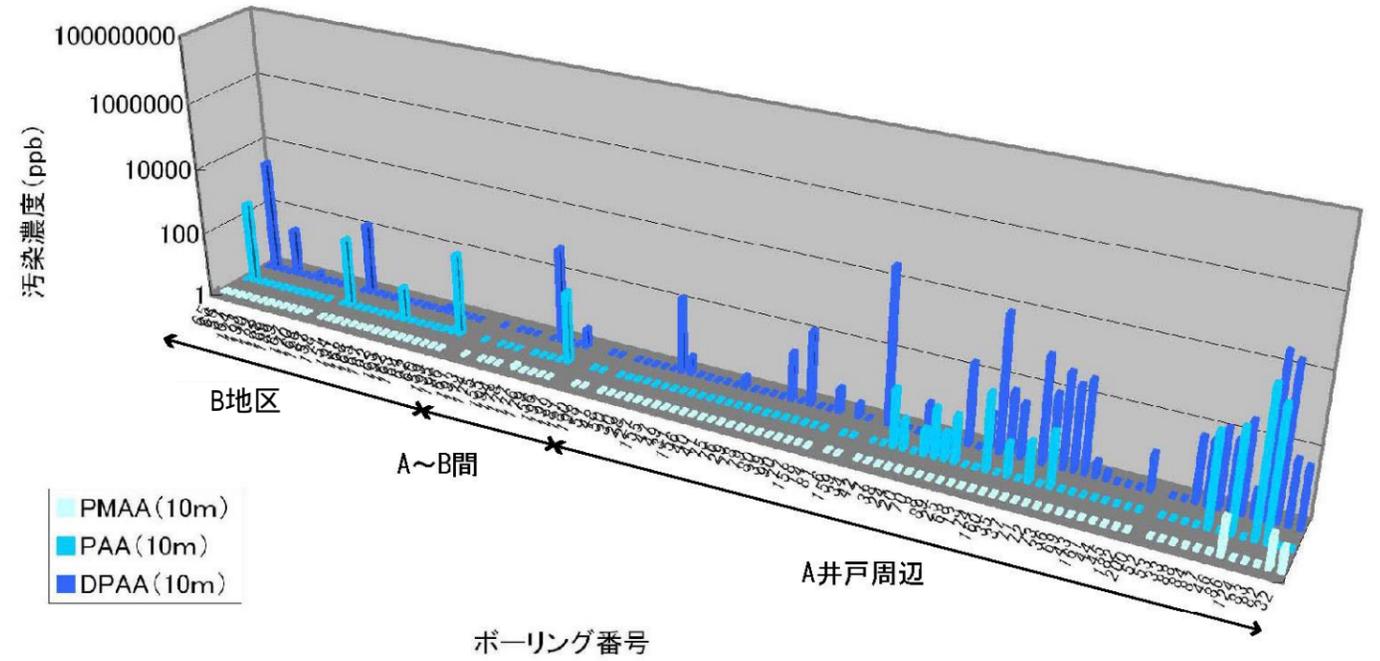
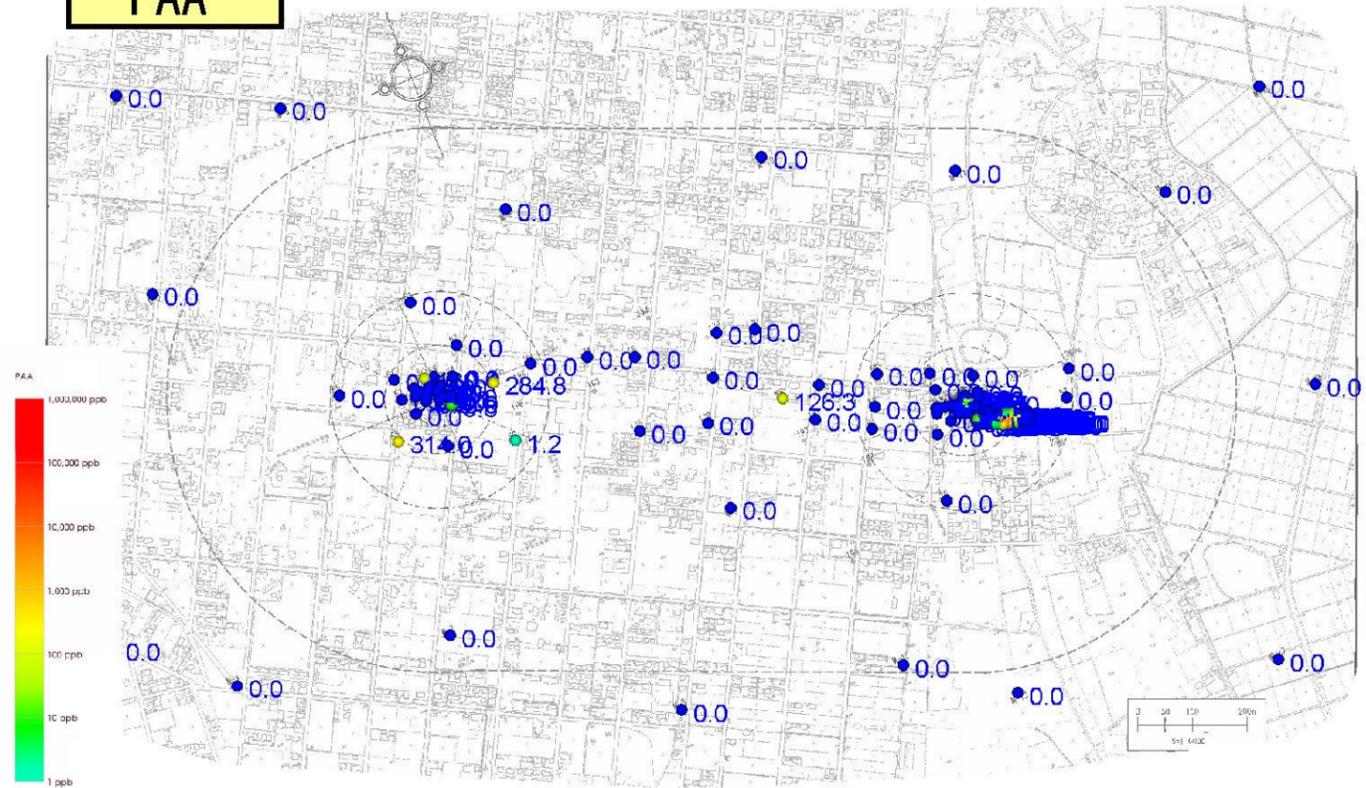
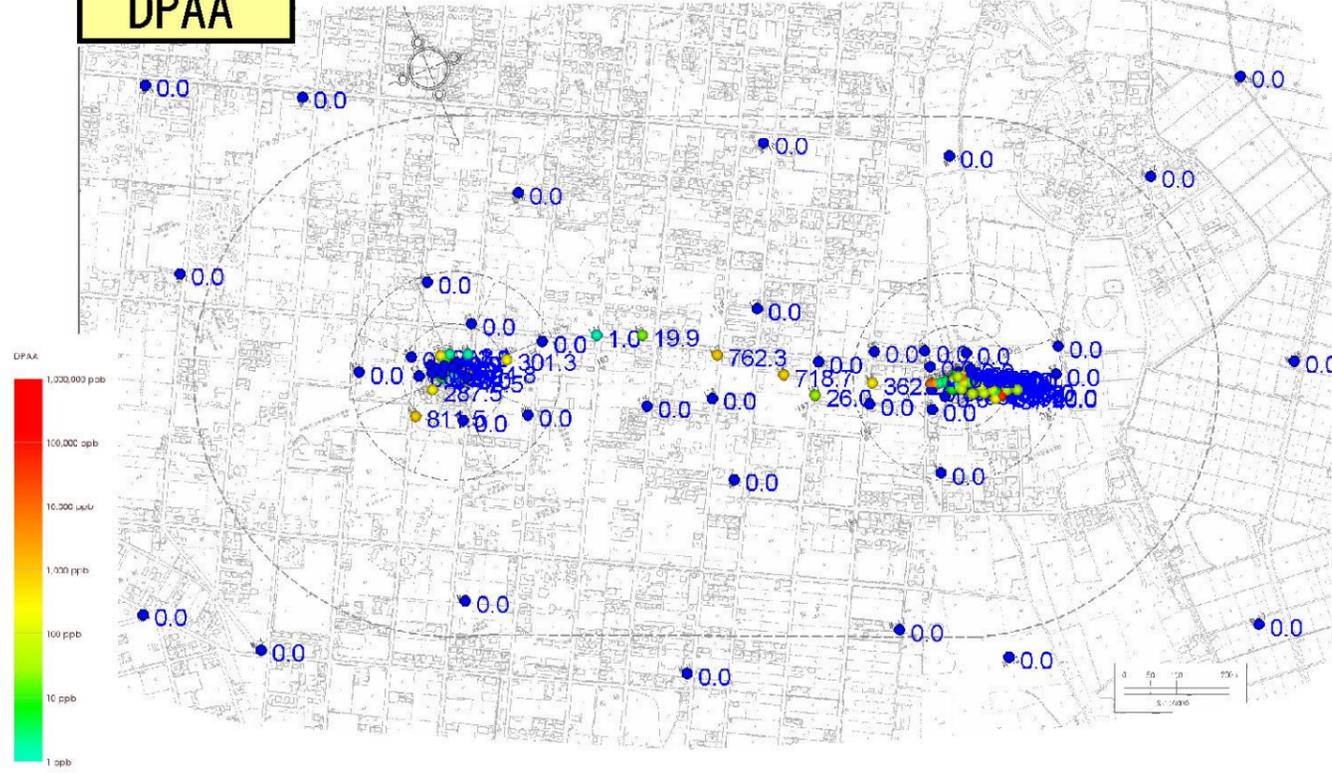
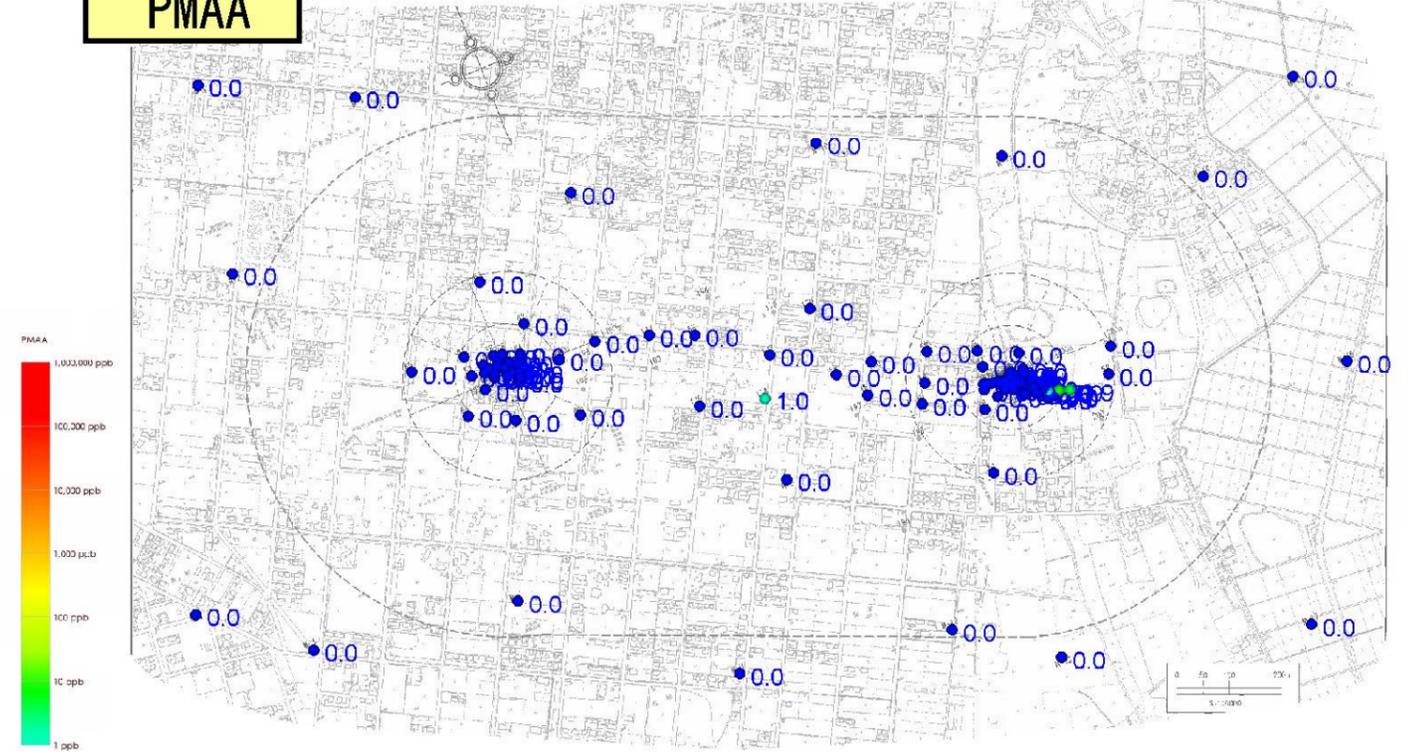


図5.3.5 2004年夏季(7~8月)ABトラック地下水DPAA・PAA・PMAA汚染状況図(深度20m) 単位:ppb(ヒ素換算値)

DPAA



PMAA



PAA

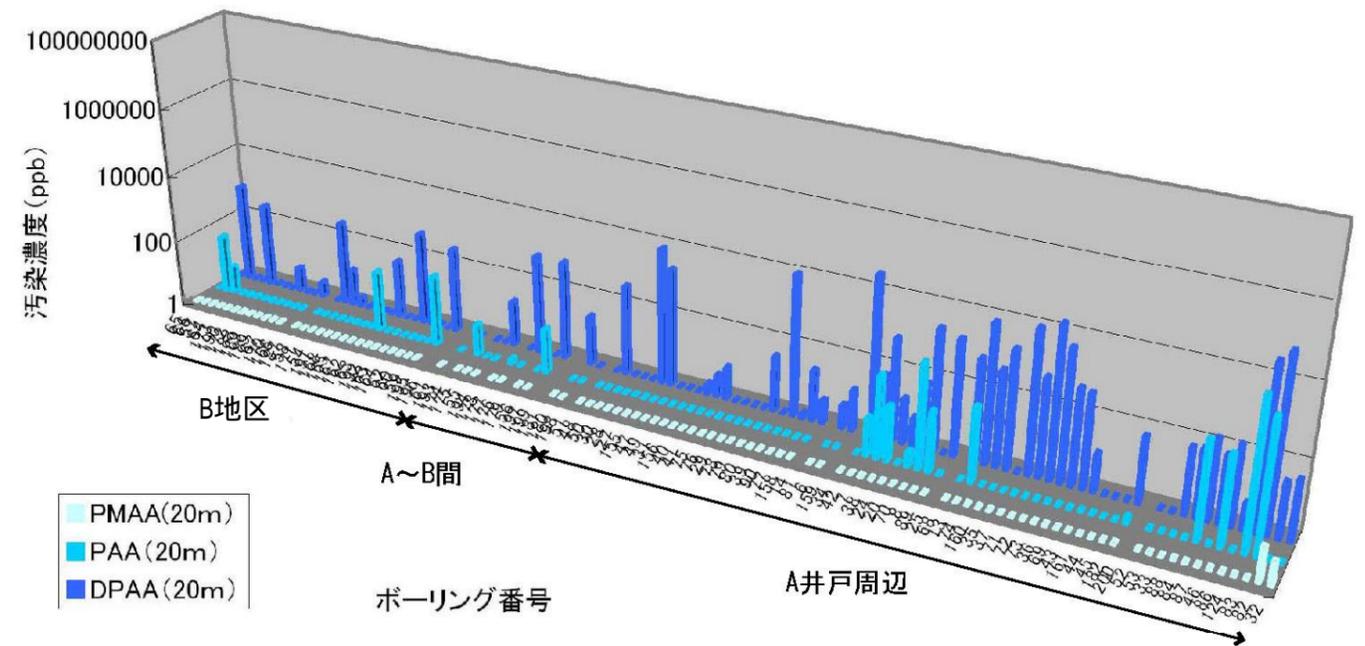
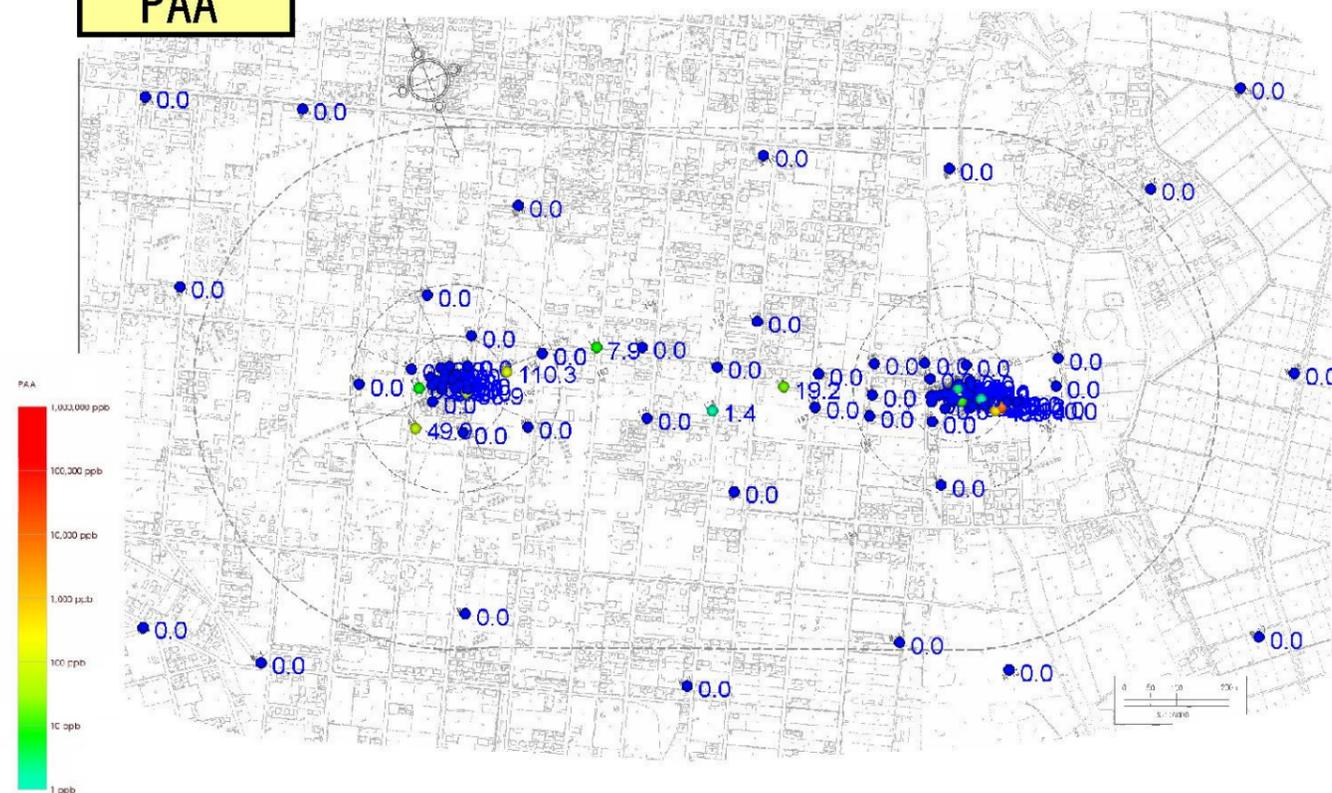
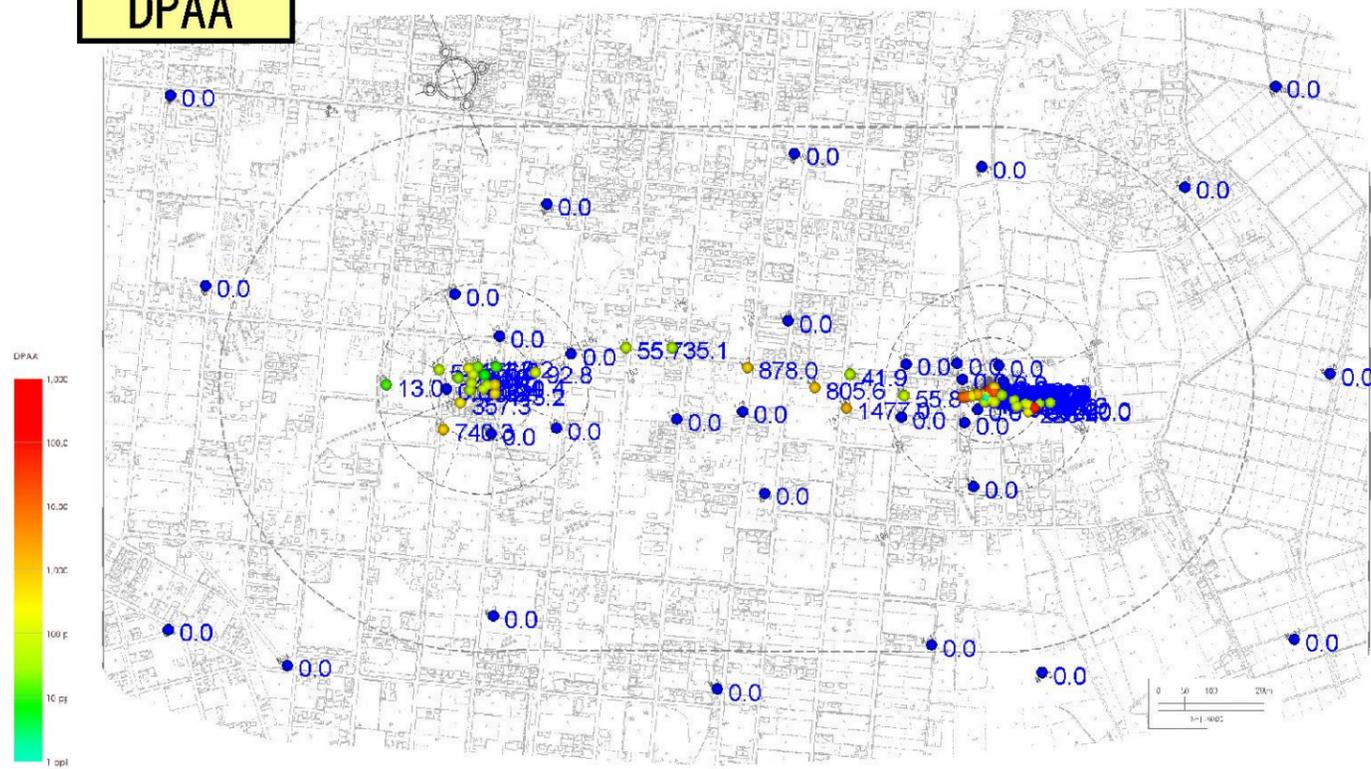
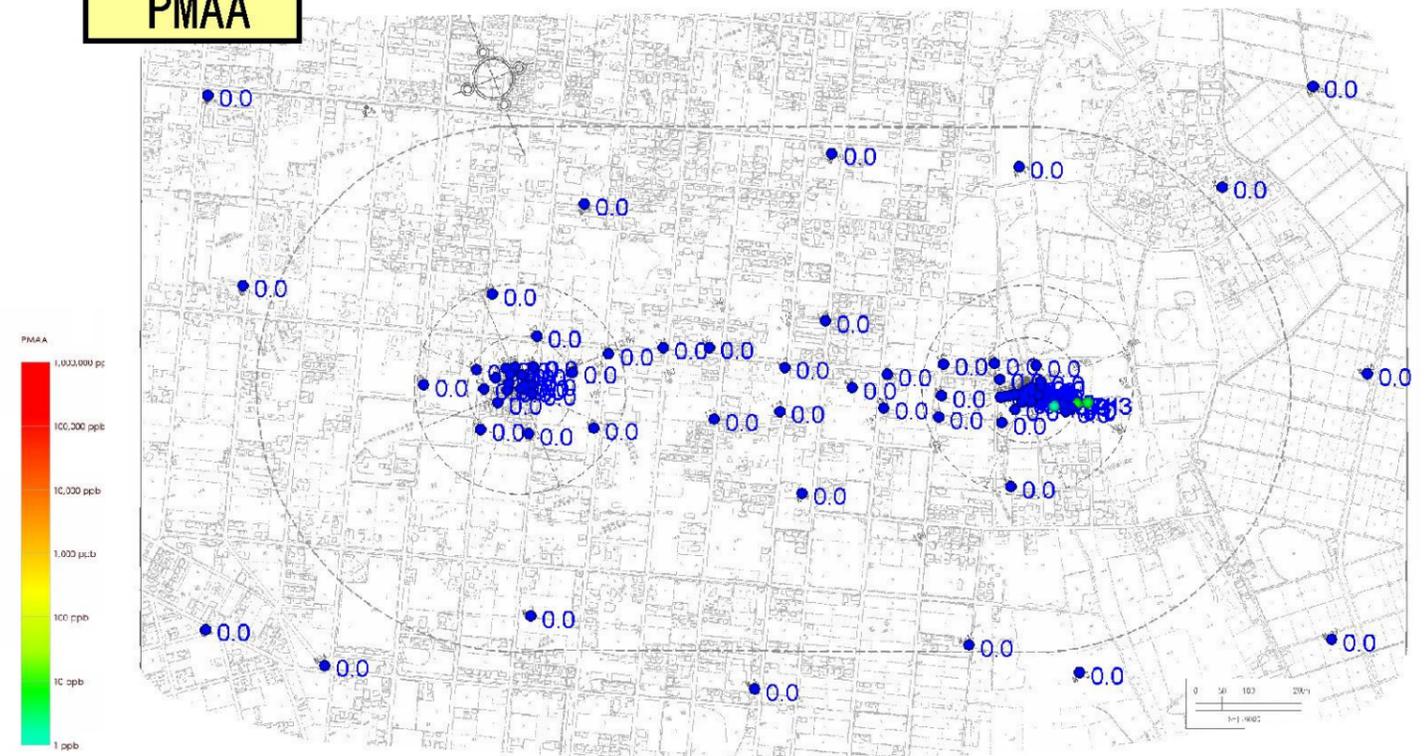


図5.3.6 2004年夏季(7~8月)ABトラック地下水DPAA・PAA・PMAA汚染状況図(深度30m) 単位:ppb(ヒ素換算値)

DPAA



PMAA



PAA

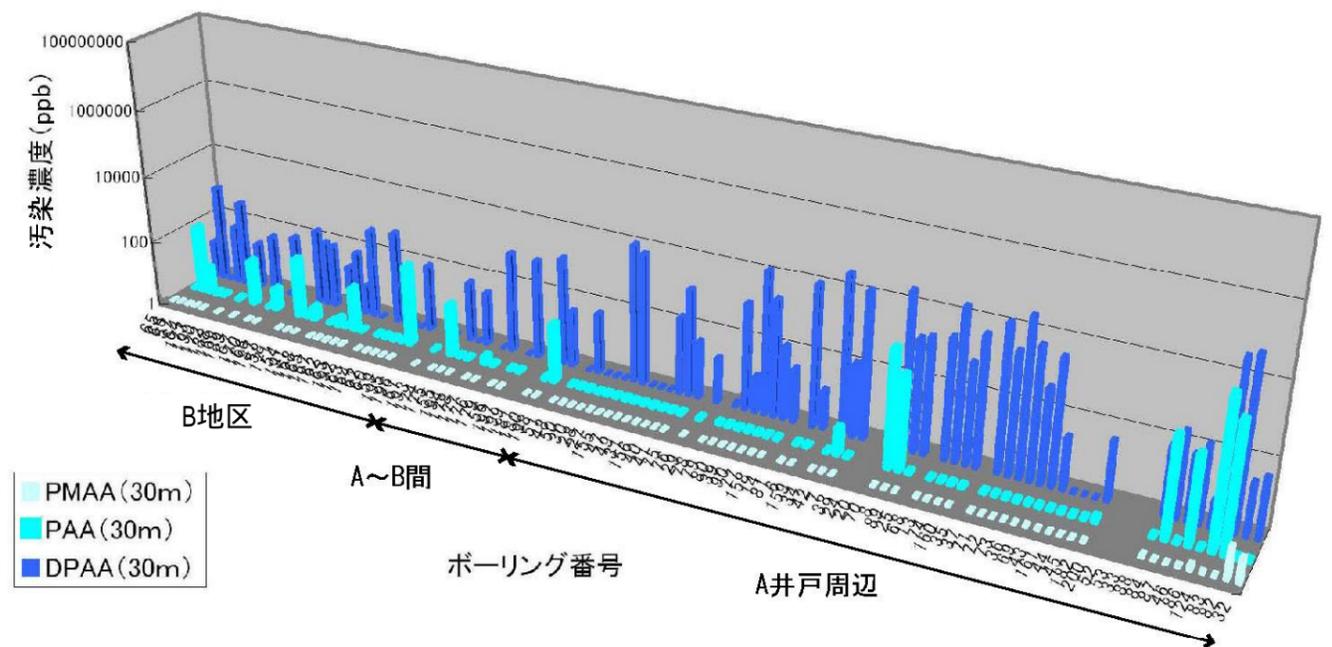
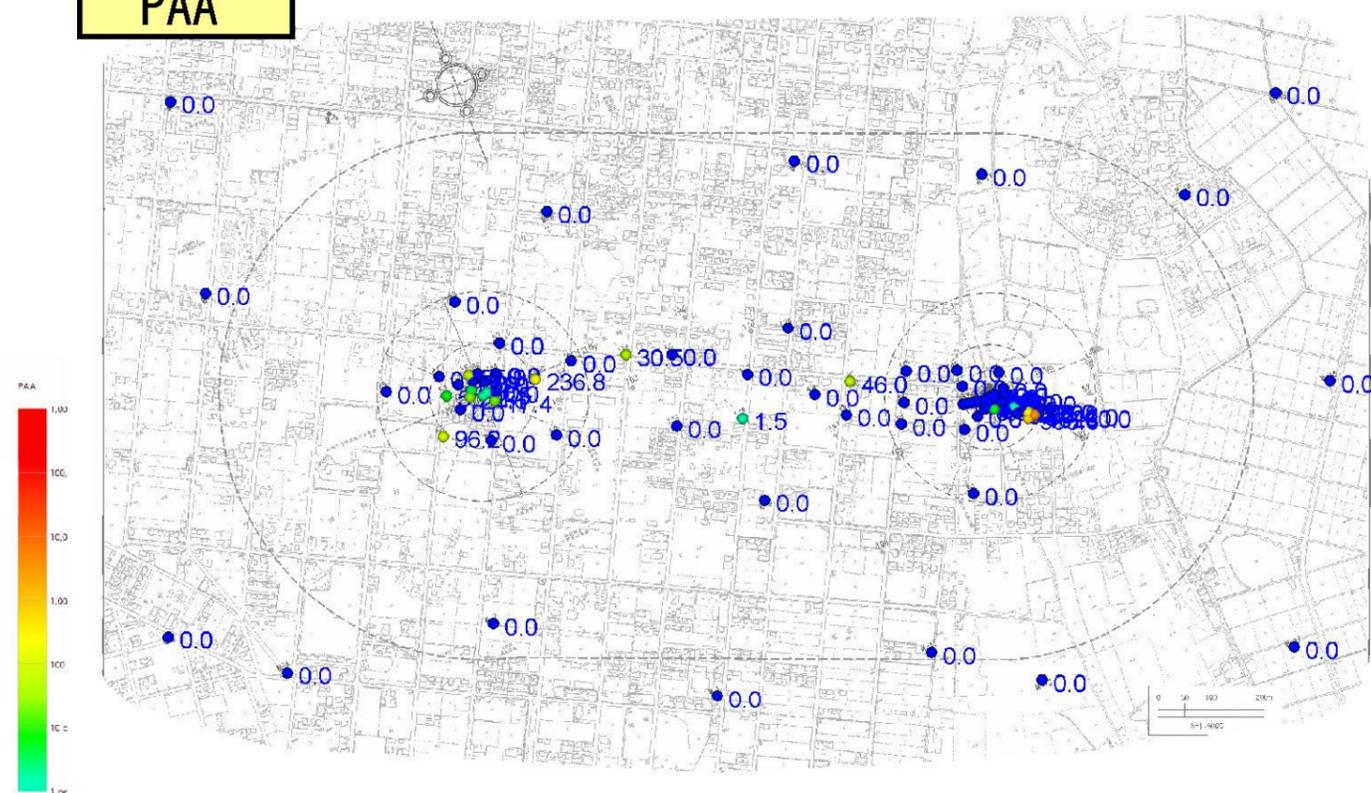


図5.3.7 2004年夏季(7~8月)A井戸周辺地下水DPAA・PAA・PMAA汚染状況図(深度10m) 単位:ppb(ヒ素換算値)

単位:ppb(ヒ素換算値)

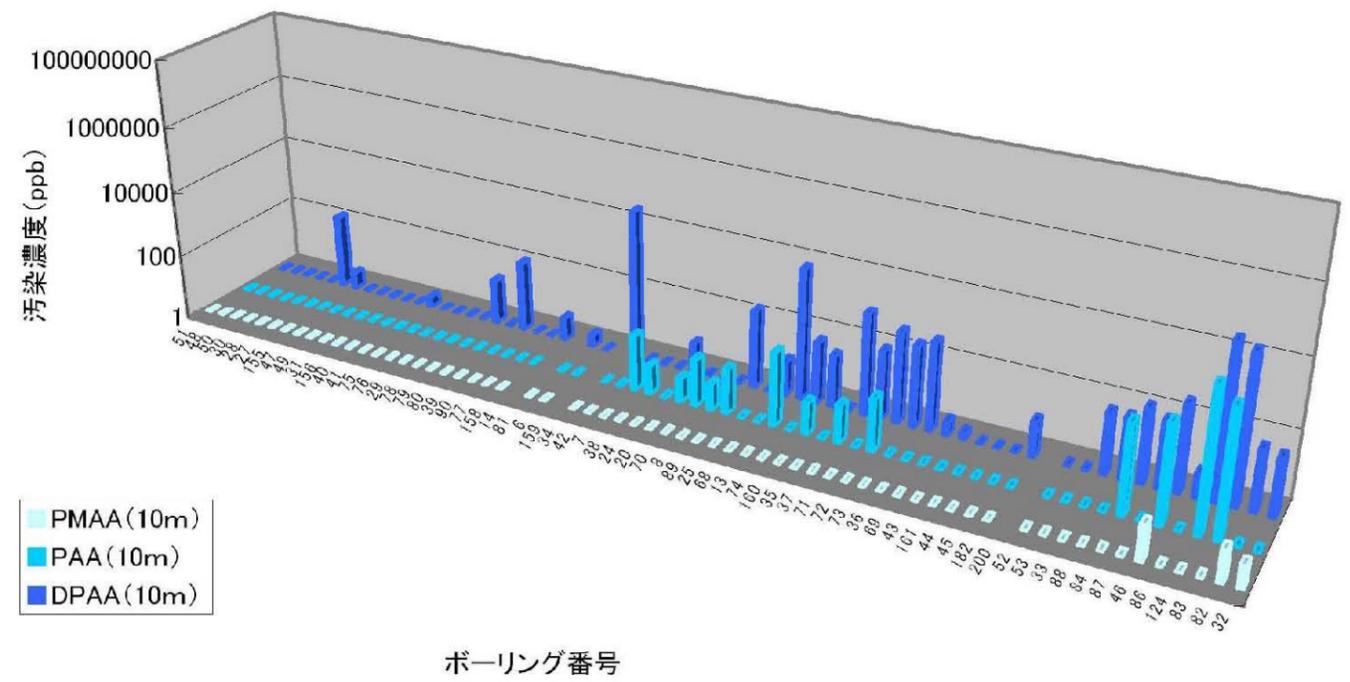
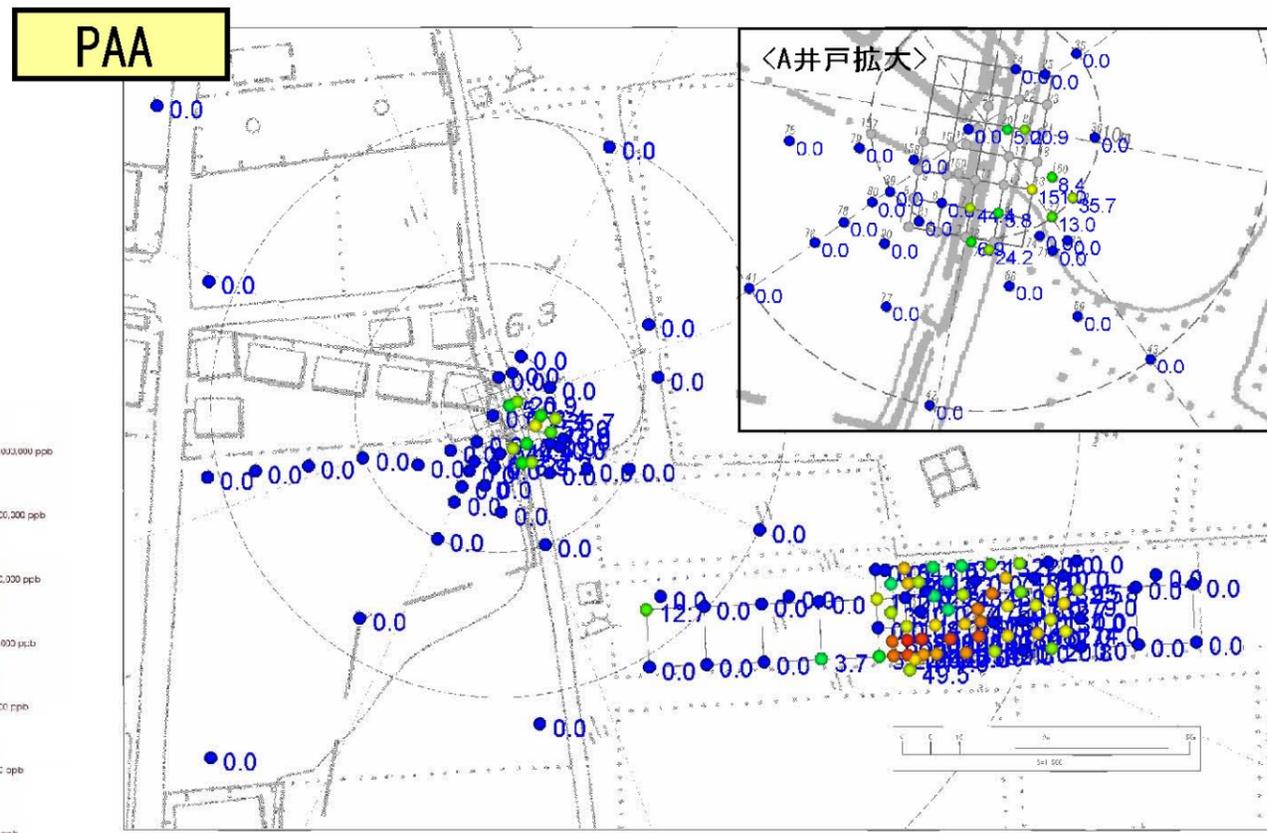
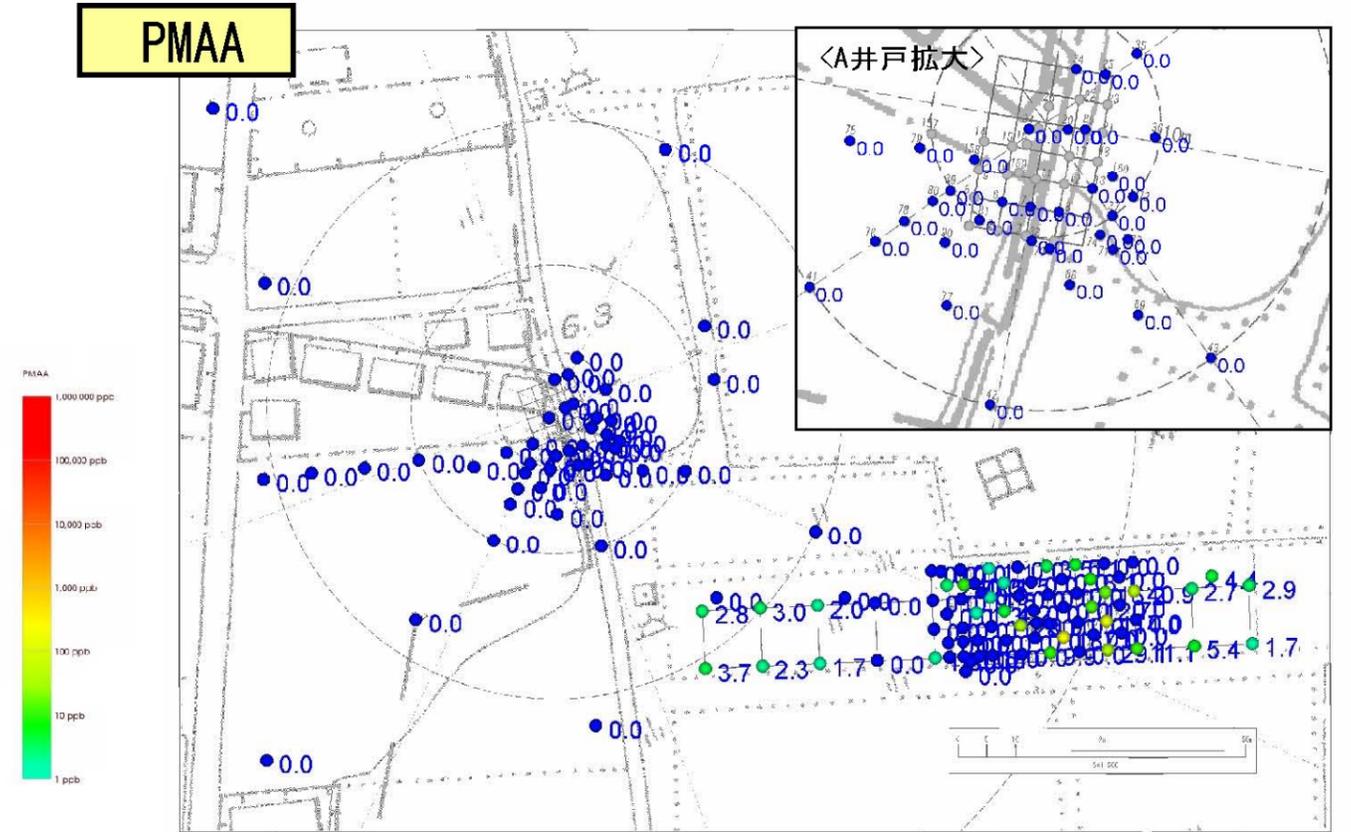
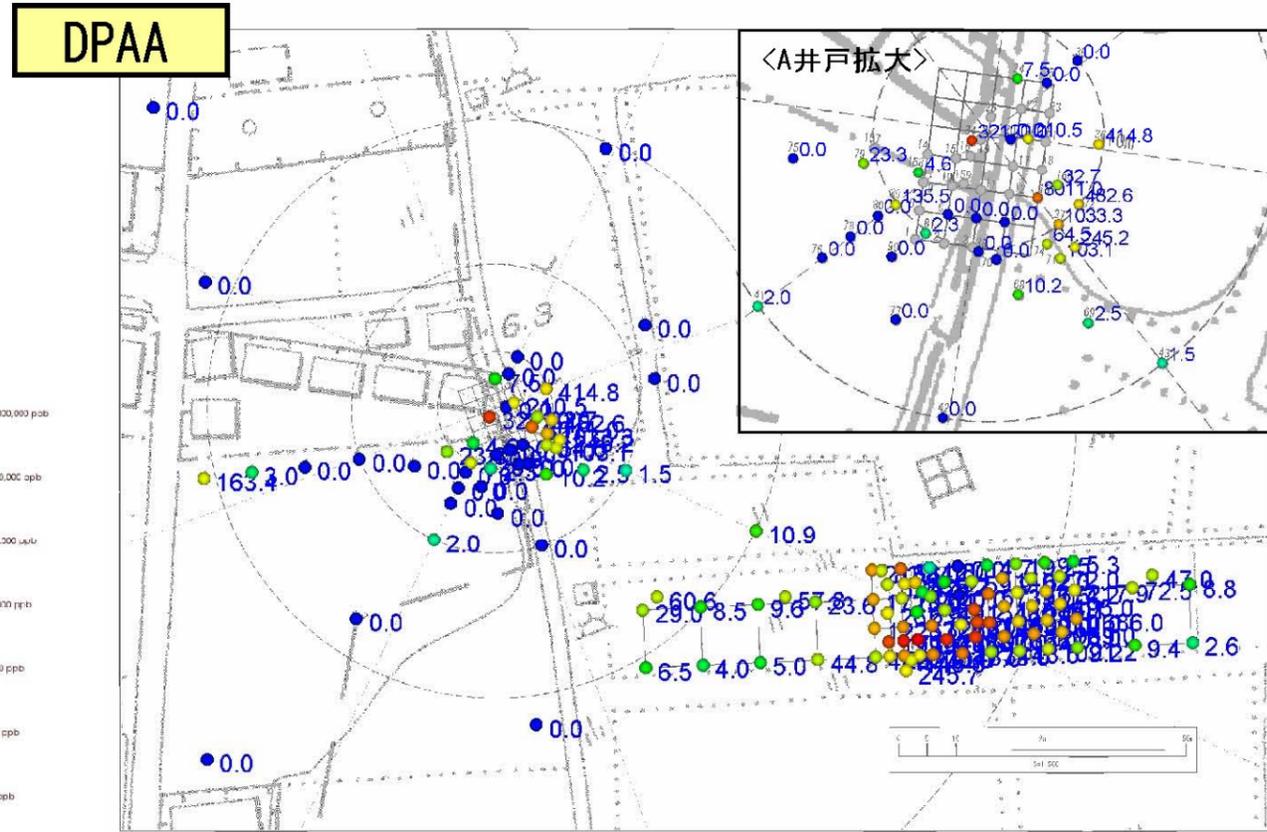


図5.3.8 2004年夏季(7~8月)A井戸周辺地下水DPAA・PAA・PMAA汚染状況図(深度20m) 単位:ppb(ヒ素換算値)

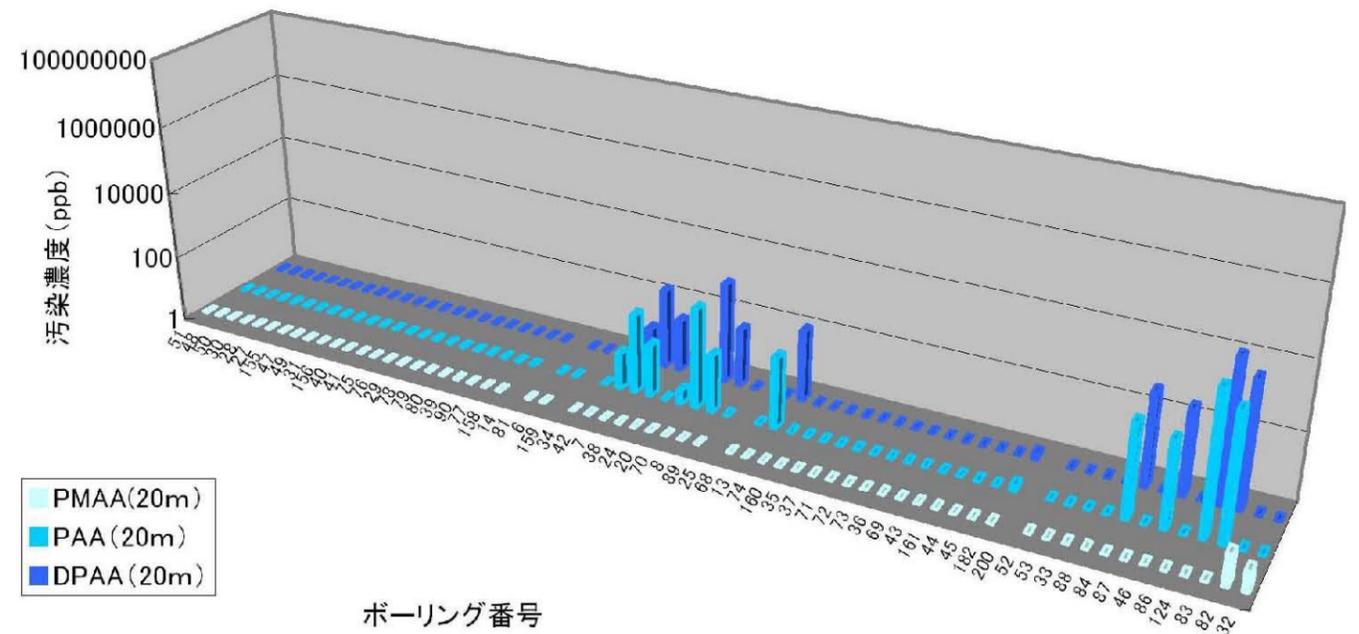
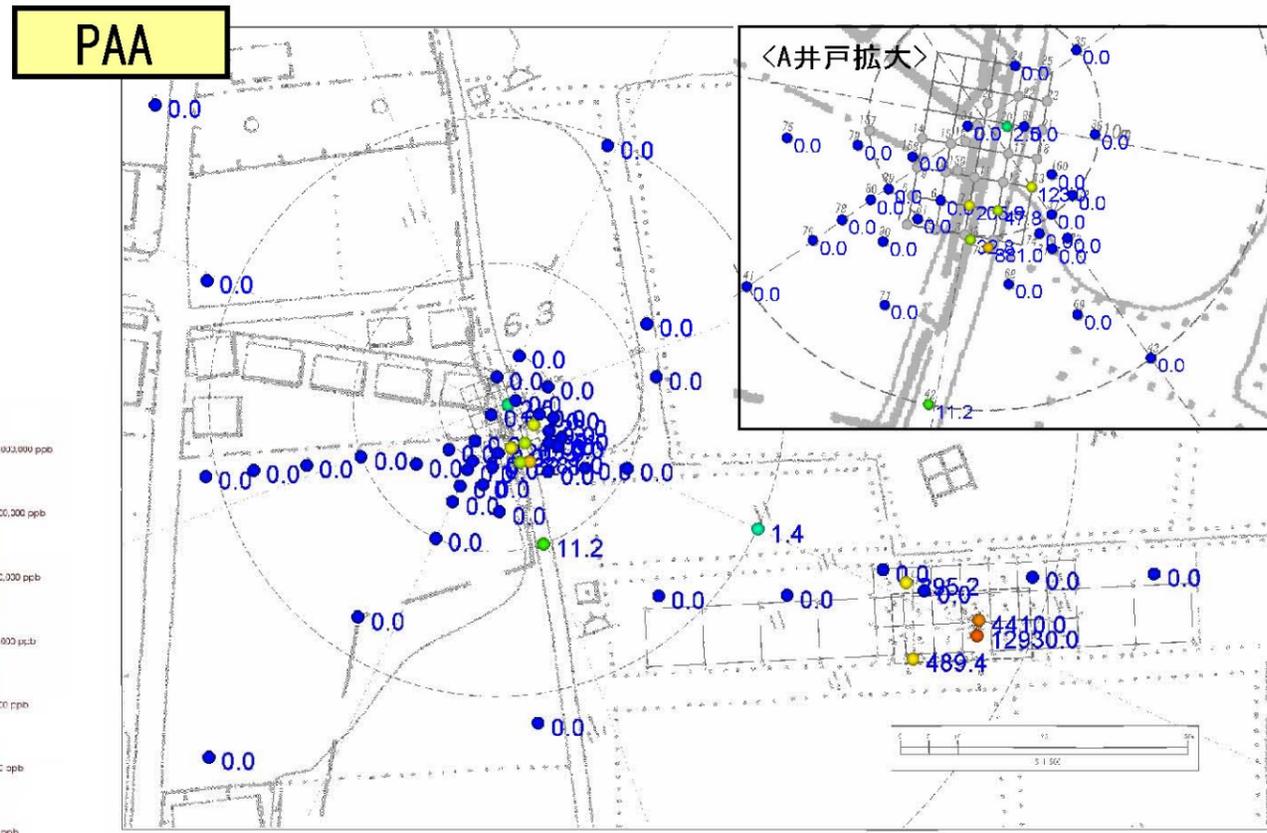
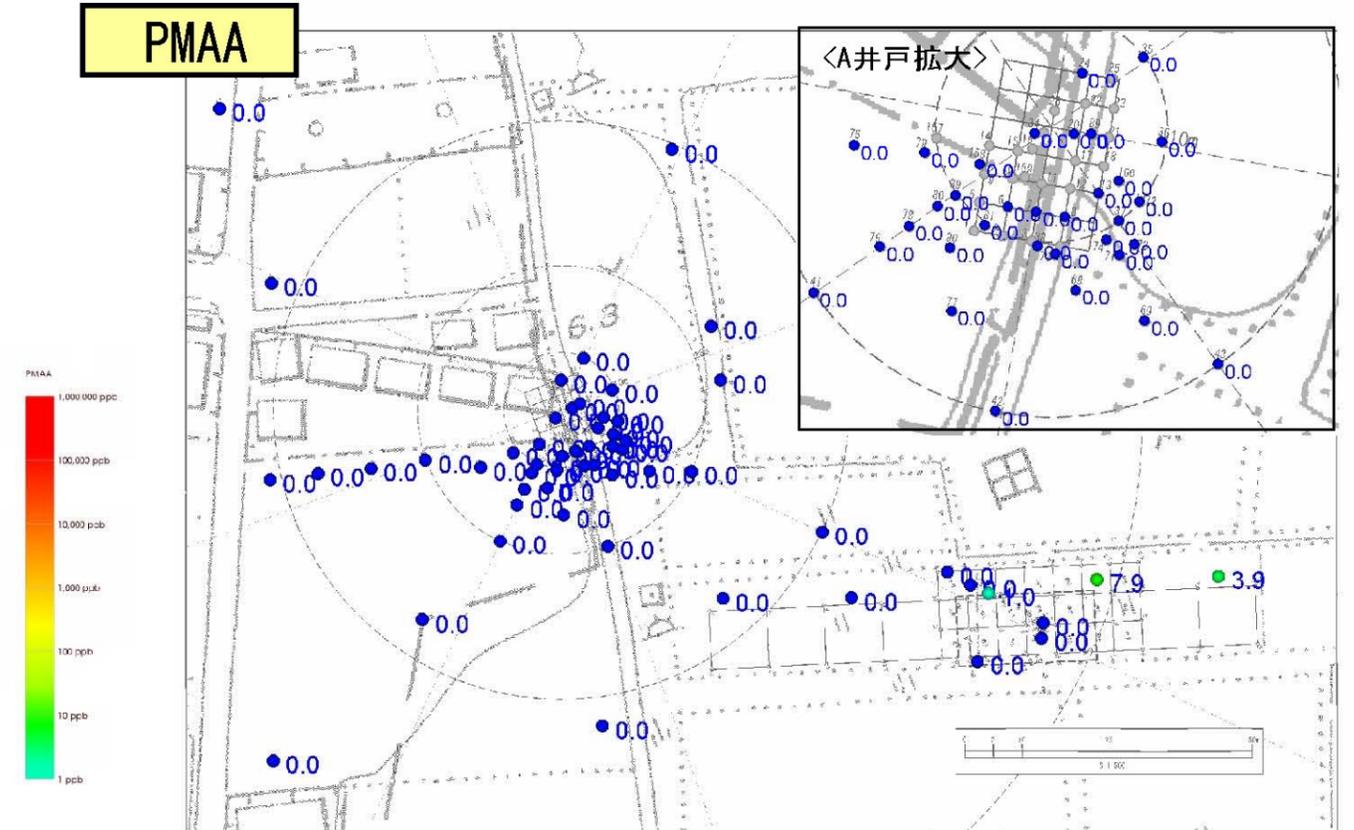
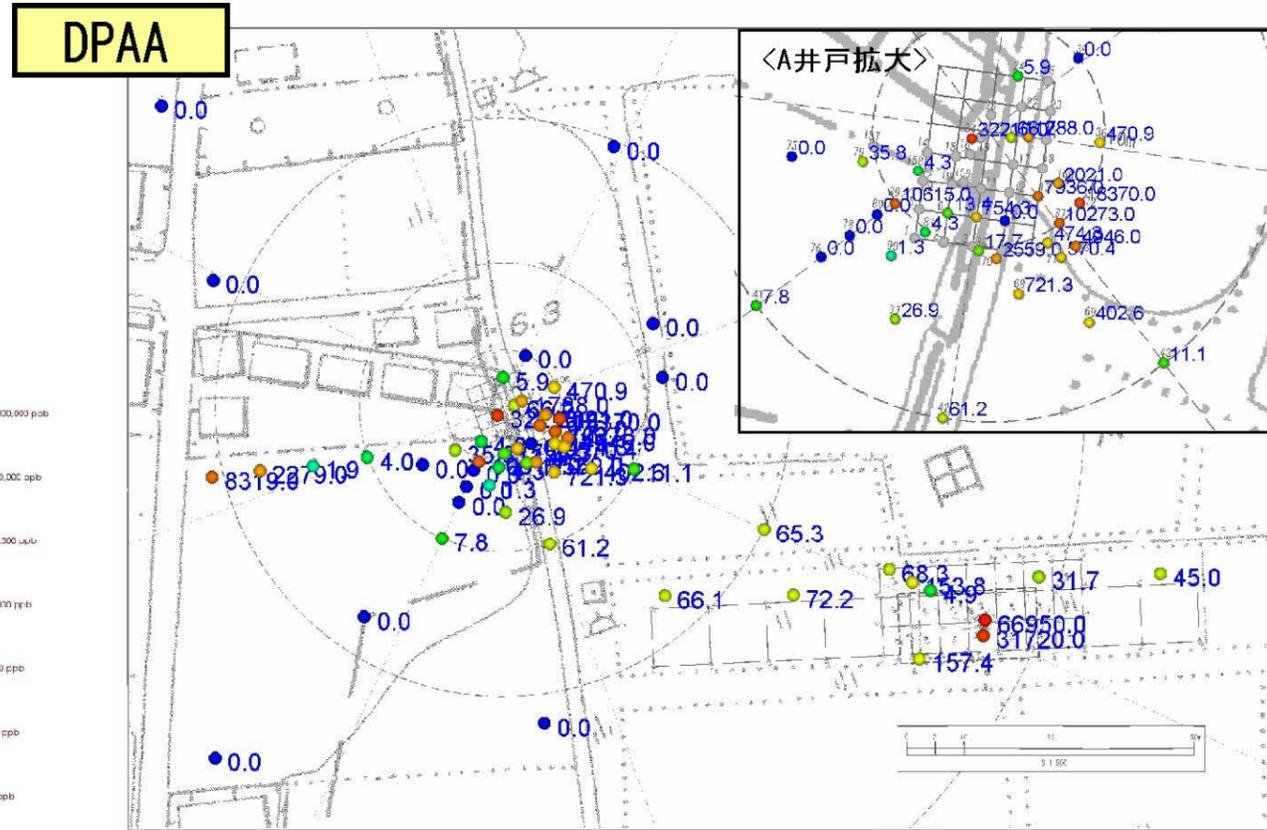


図5.3.9 2004年夏季(7~8月)A井戸周辺地下水DPAA・PAA・PMAA汚染状況図(深度30m) 単位:ppb(ヒ素換算値)

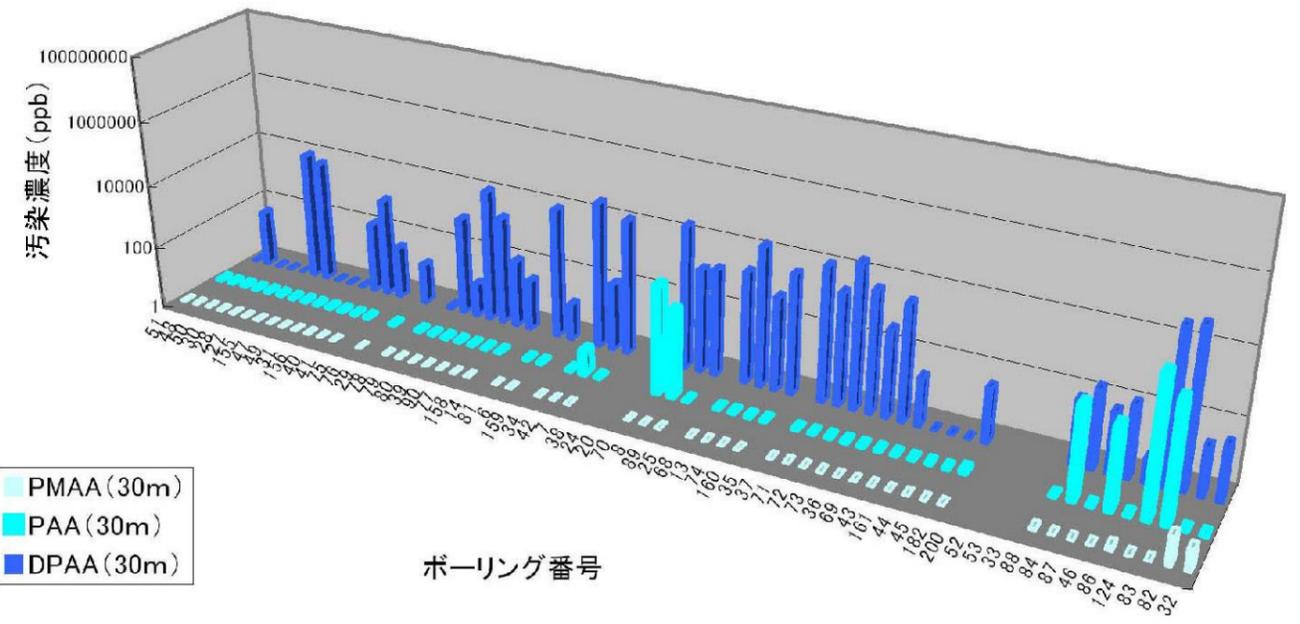
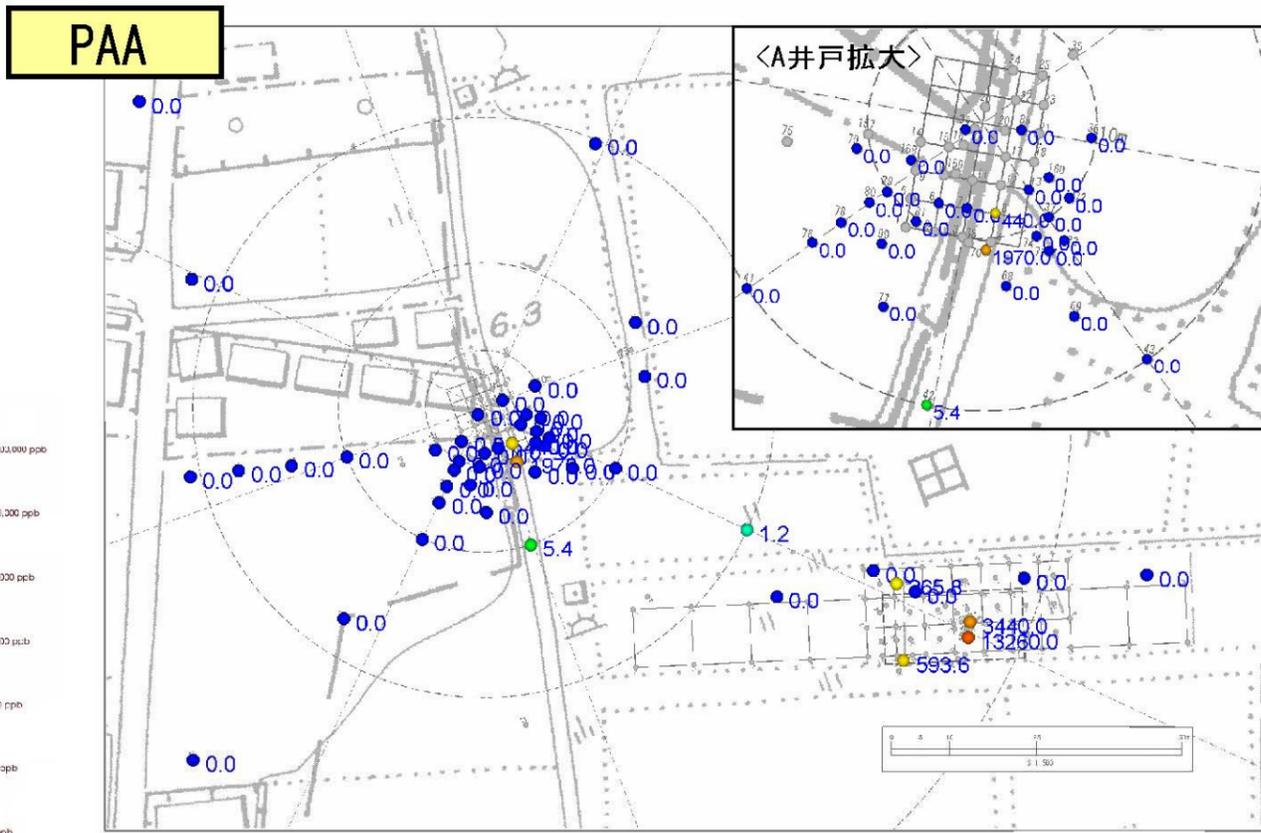
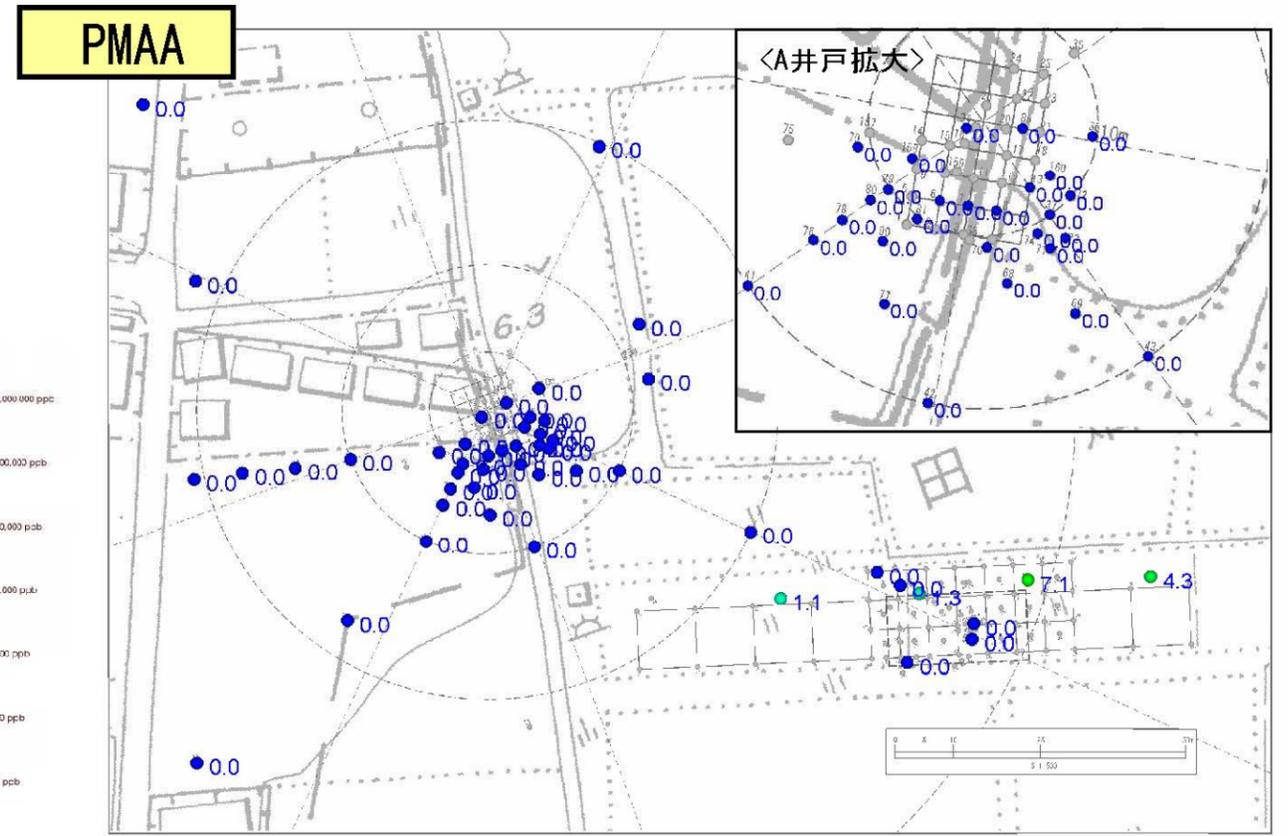
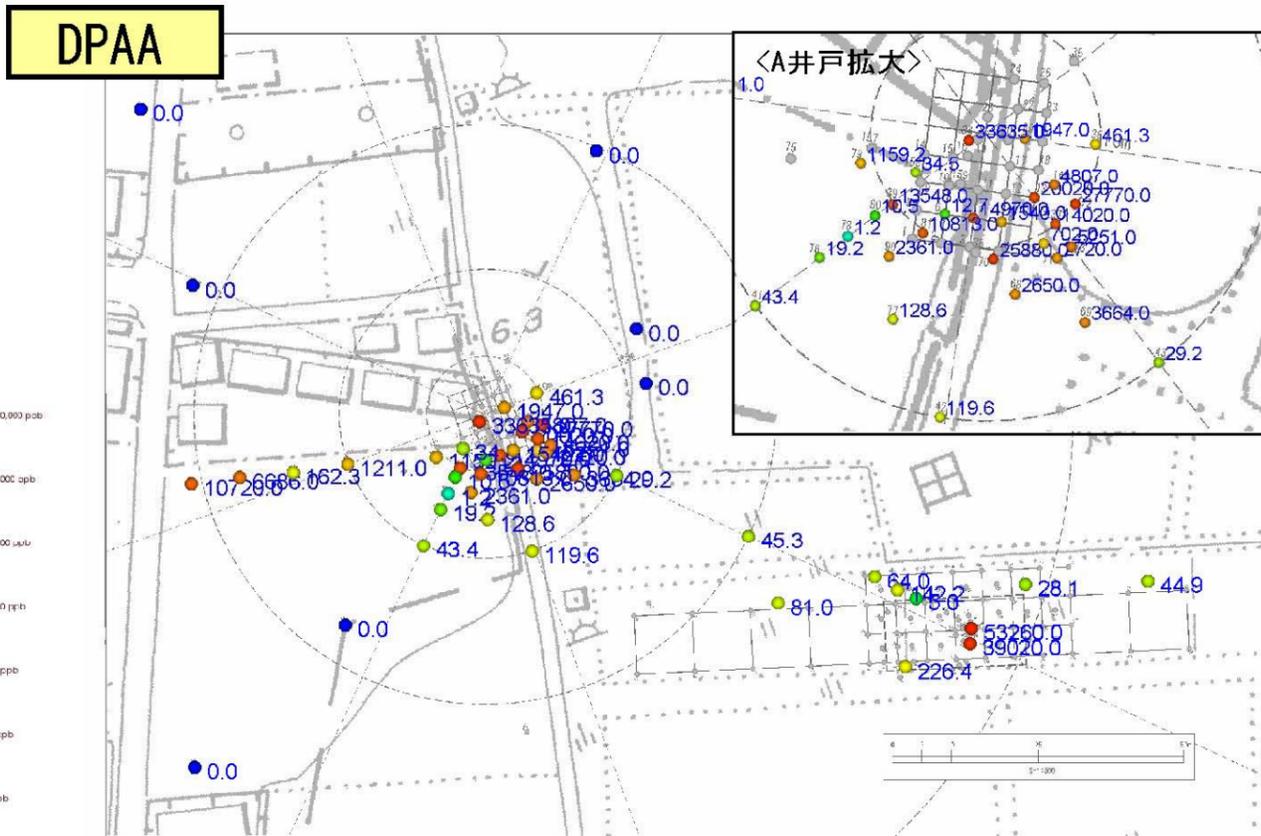
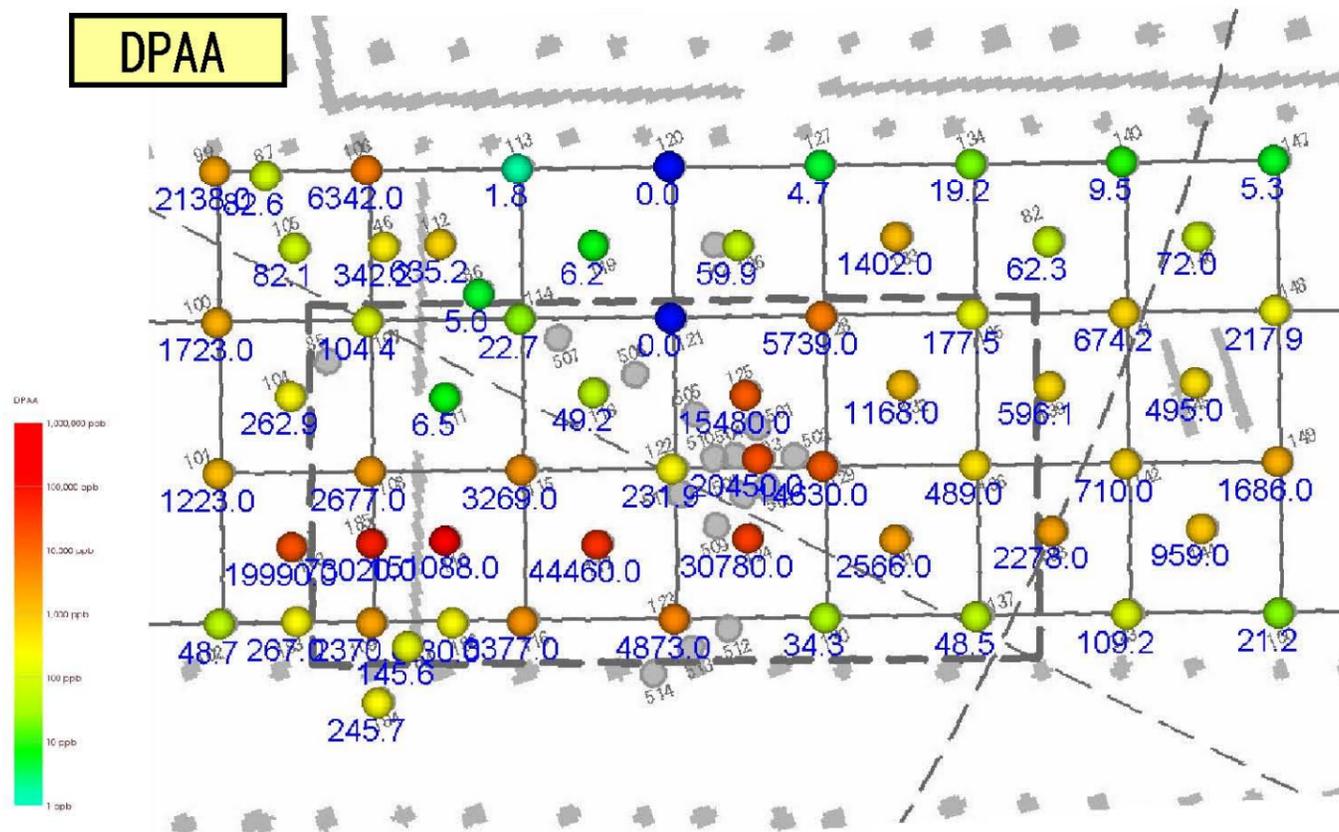
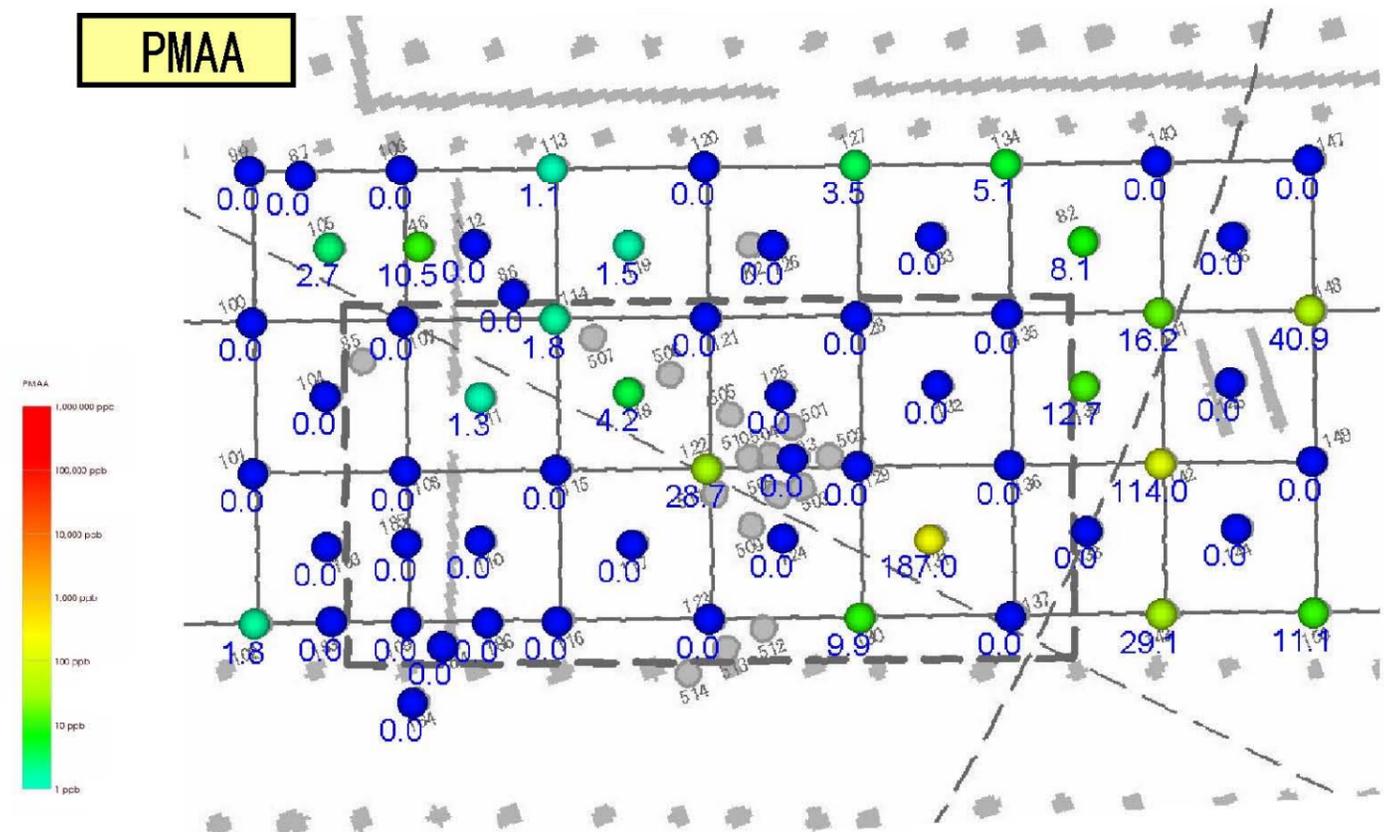


図5.3.10 2004年夏季(7~8月)掘削調査地点周辺地下水DPAA・PAA・PMAA汚染状況図(深度10m) 単位:ppb(ヒ素換算値)

DPAA



PMAA



PAA

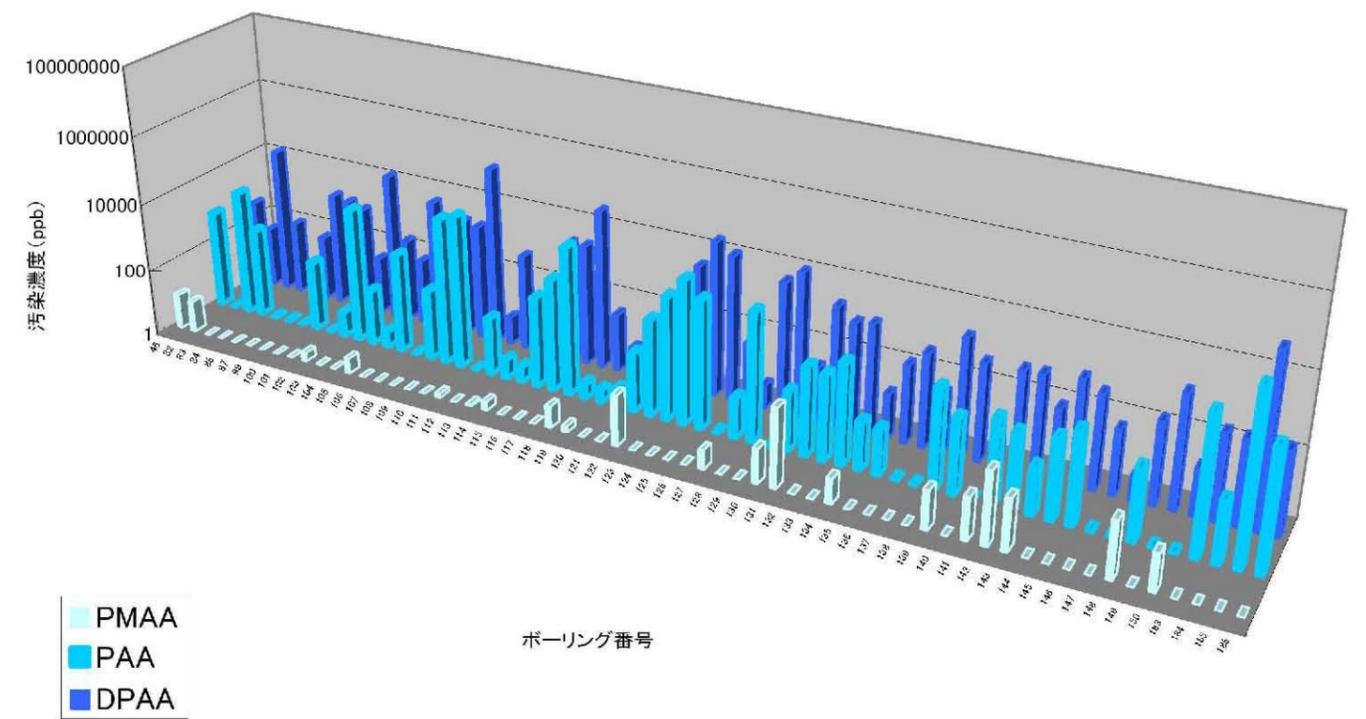
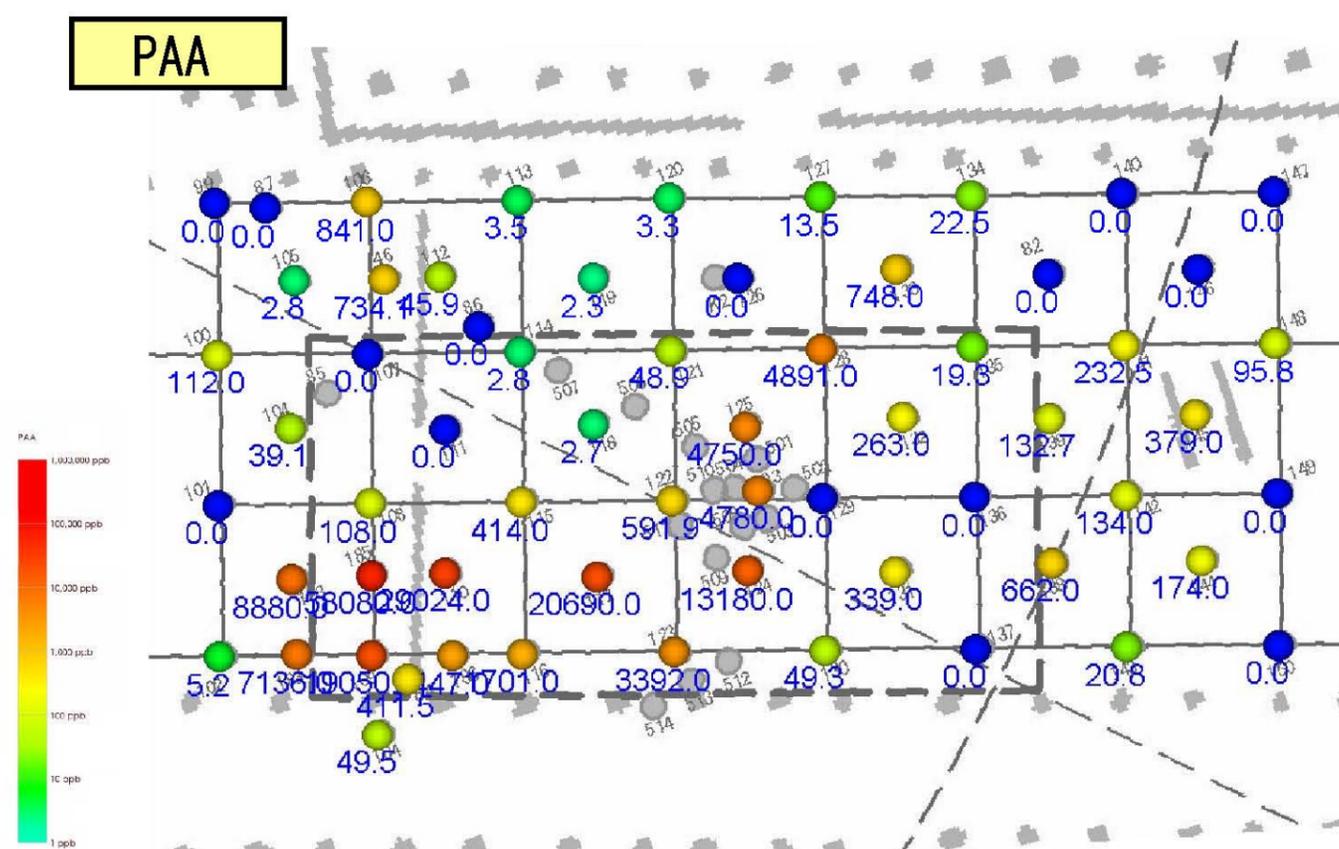


図5.3.11 2004年夏季(7~8月)B地区地下水DPAA・PAA・PMAA汚染状況図(深度10m) 単位:ppb(ヒ素換算値)

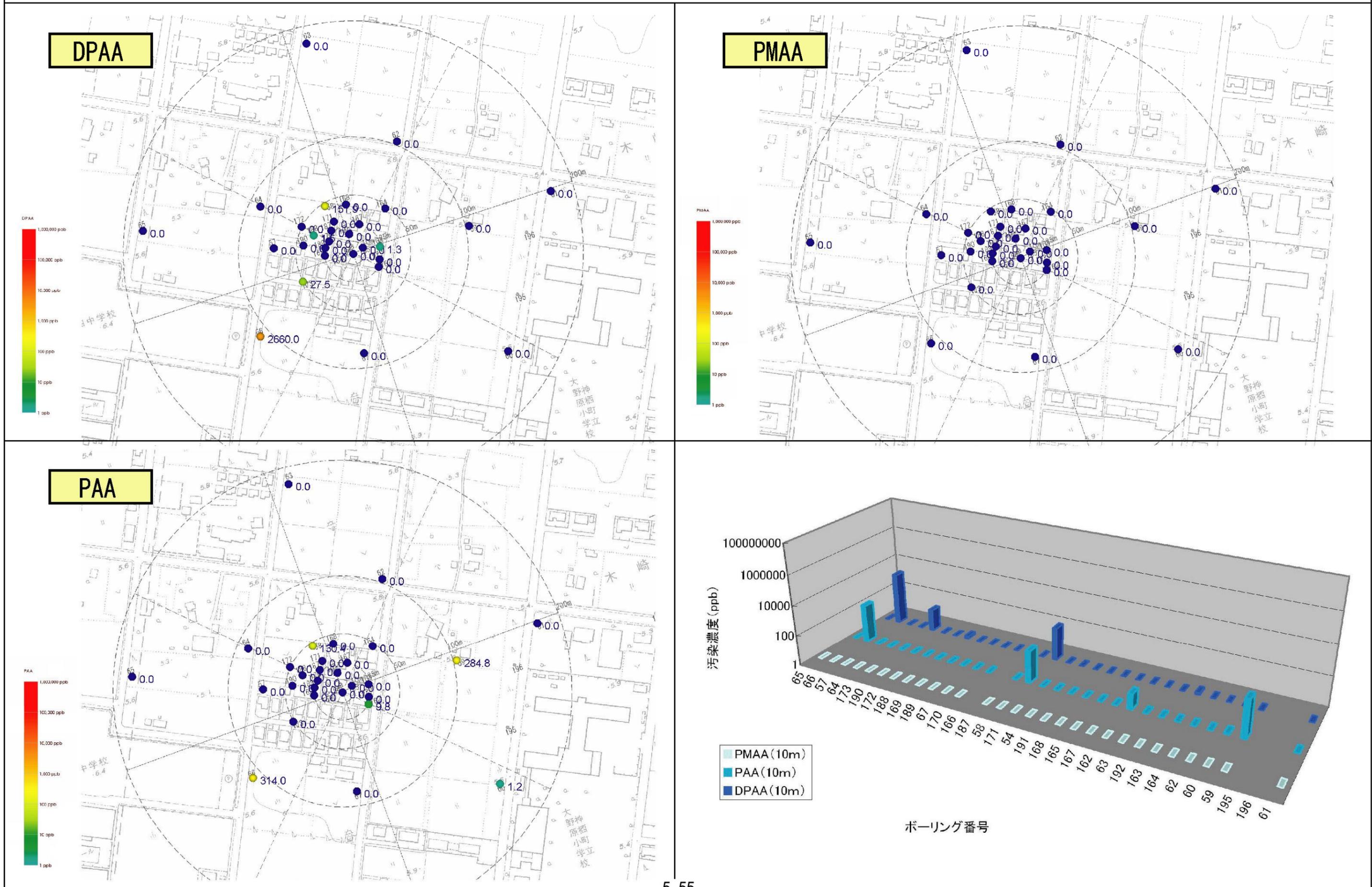


図5.3.12 2004年夏季(7~8月)B地区地下水DPAA・PAA・PMAA汚染状況図(深度20m) 単位:ppb(ヒ素換算値)

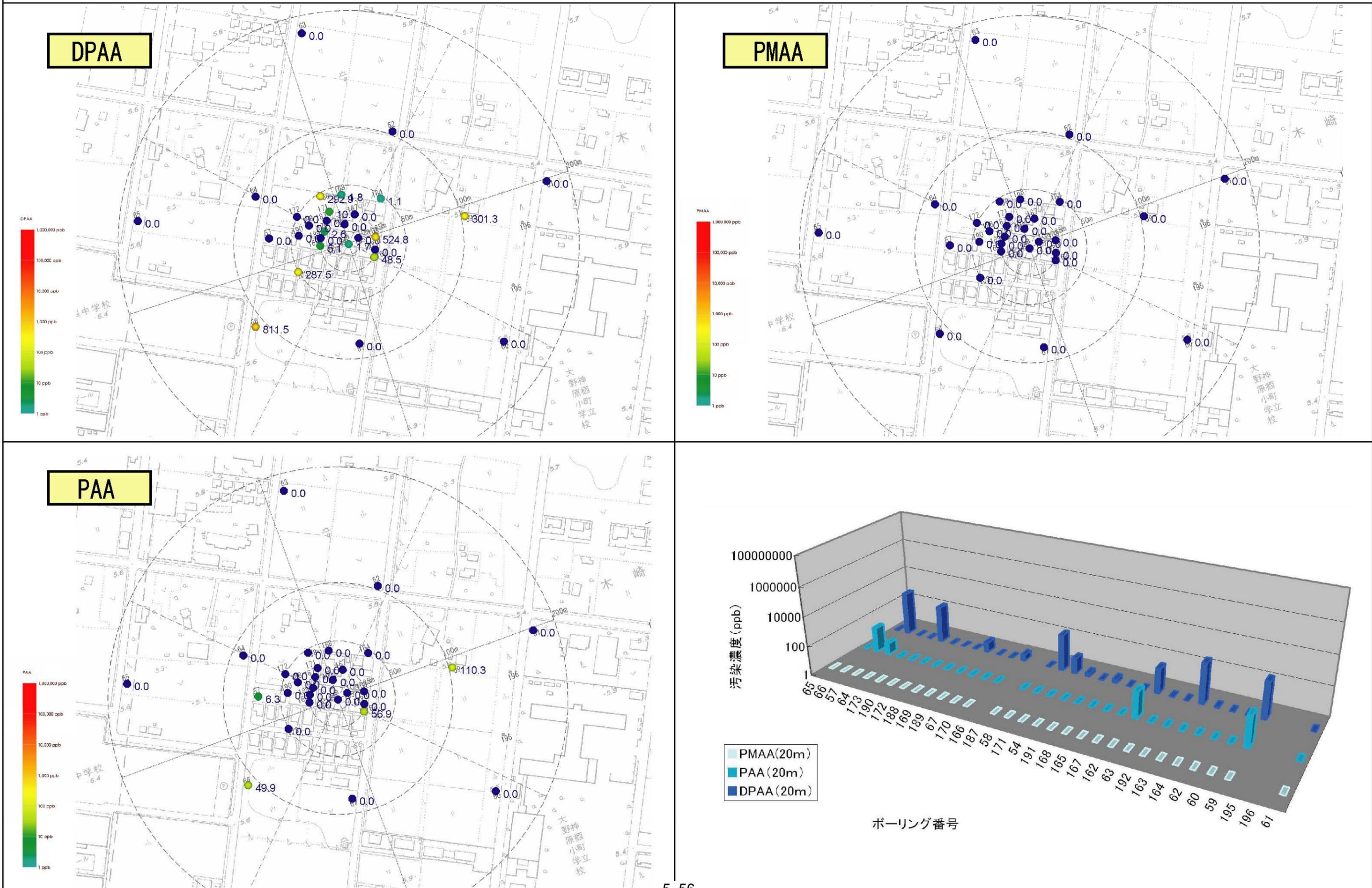
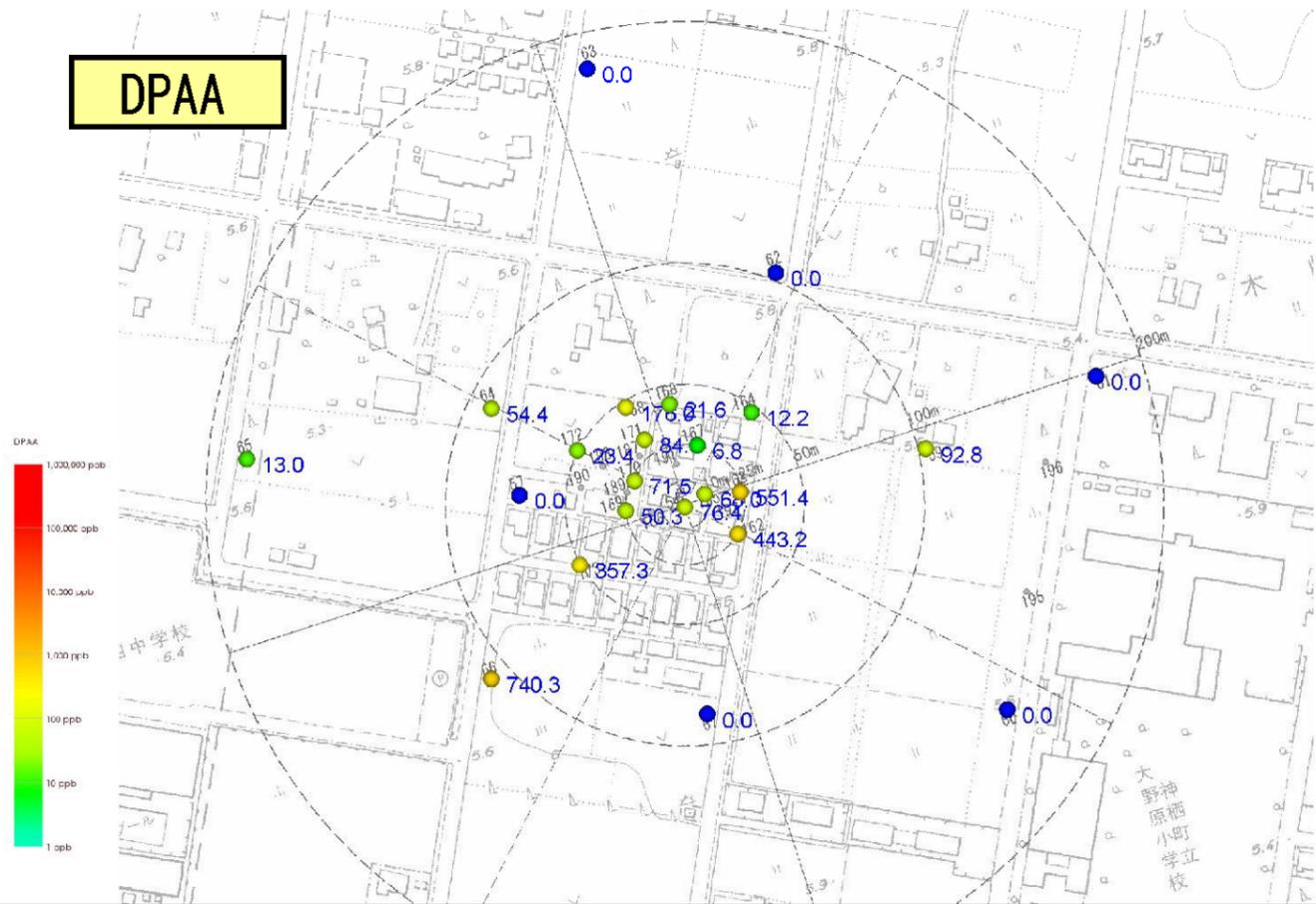
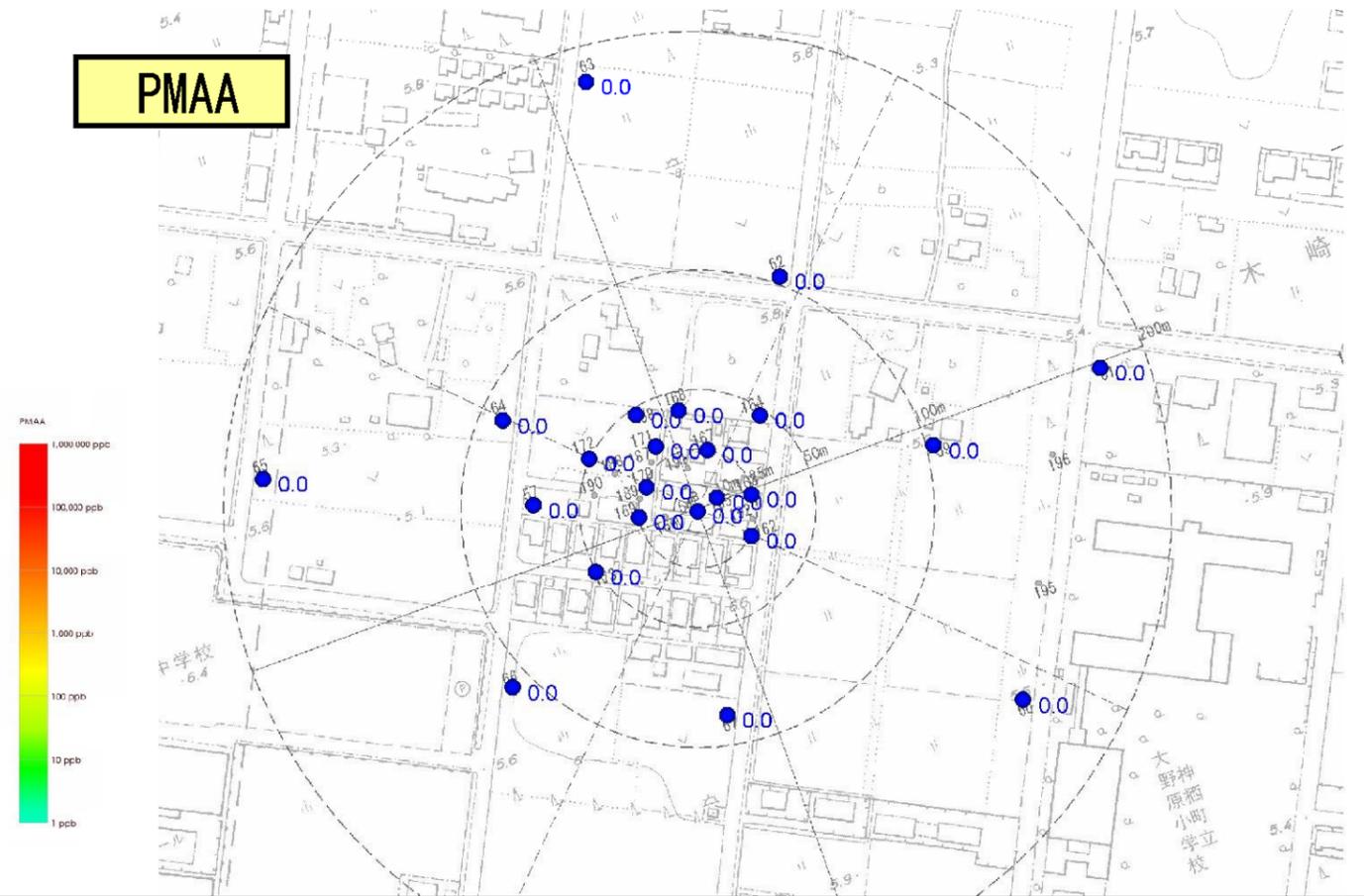


図5.3.13 2004年夏季(7~8月)B地区地下水DPAA・PAA・PMAA汚染状況図(深度30m) 単位:ppb(ヒ素換算値)

DPAA



PMAA



PAA

